

### 3. クロス集計および分析結果

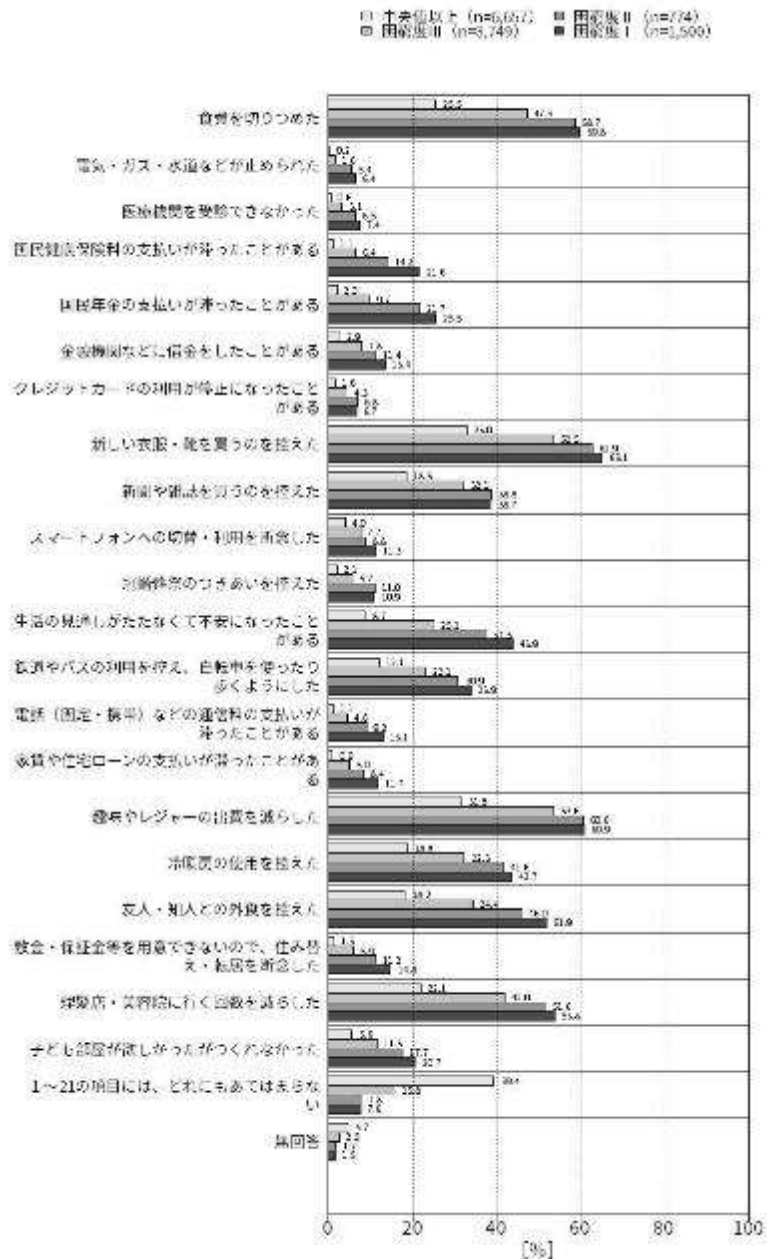
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪市 24 区の傾向については記述していないが、多くにおいて同様の傾向が見られる。(困窮度については、小中学生図 5 参照)

#### 3-1. 基本情報

##### (1) 経済状況

##### 困窮度別に見た、経済的な理由による経験 (問 6)

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

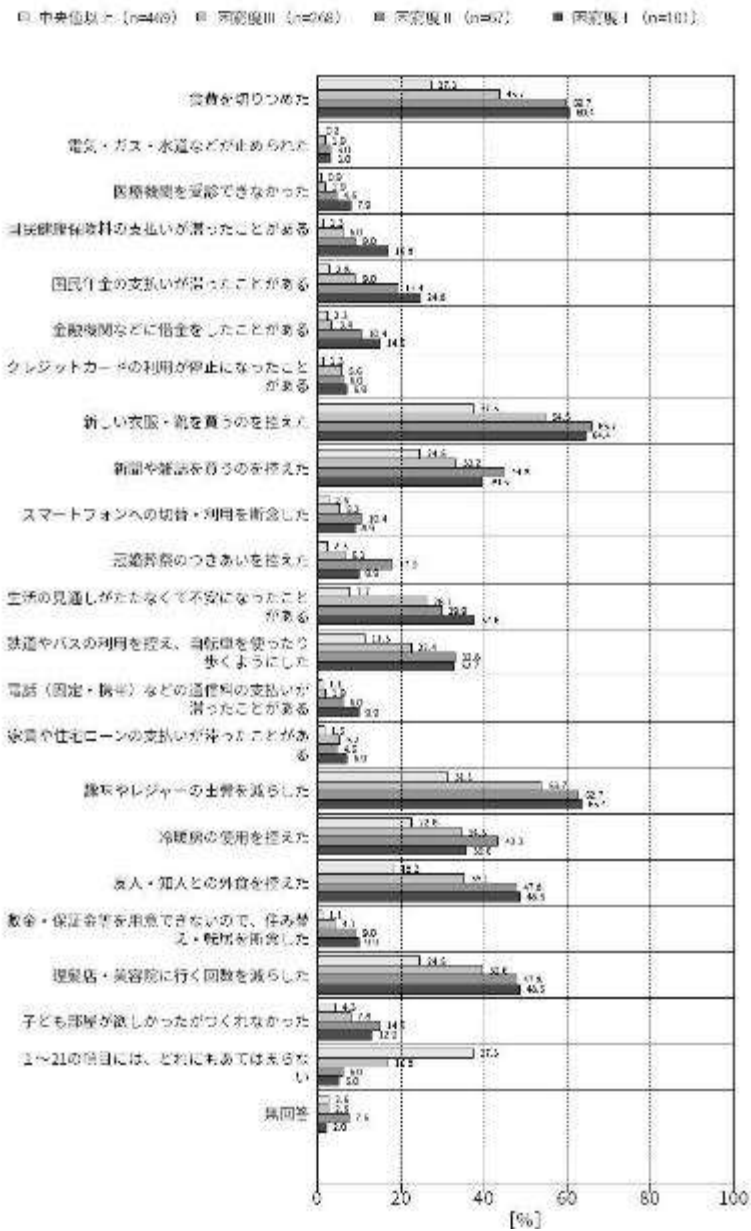
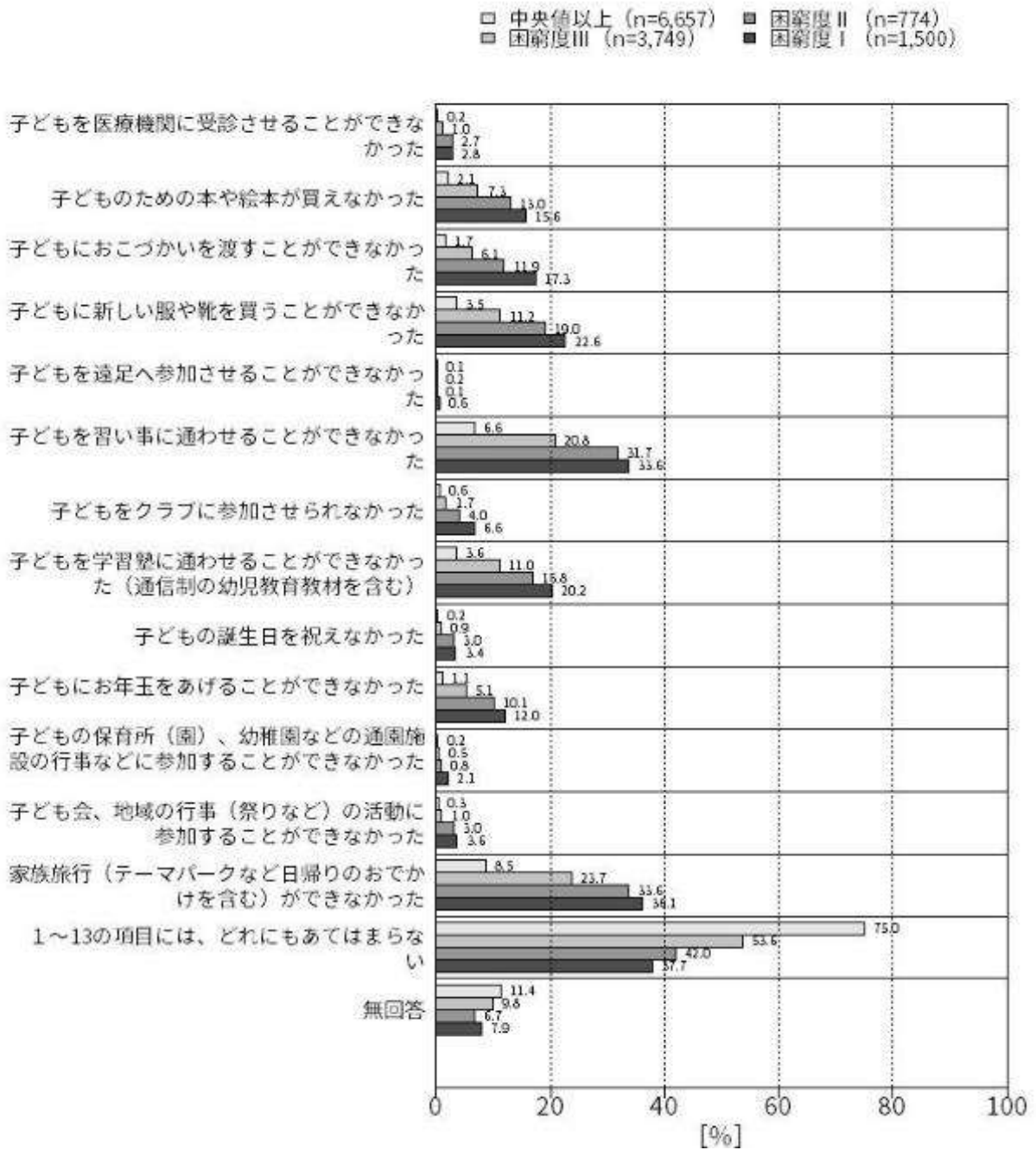


図 60. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度が高まるにつれて、できなかったことが増えていた。また、困窮度Ⅰ群では、中央値以上群に比べて、「国民年金の支払いが滞ったことがある」の割合が 8.9 倍、「金融機関などに借金をしたことがある」の割合が 6.5 倍、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」の割合が 4.9 倍となっていた。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（問 29）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

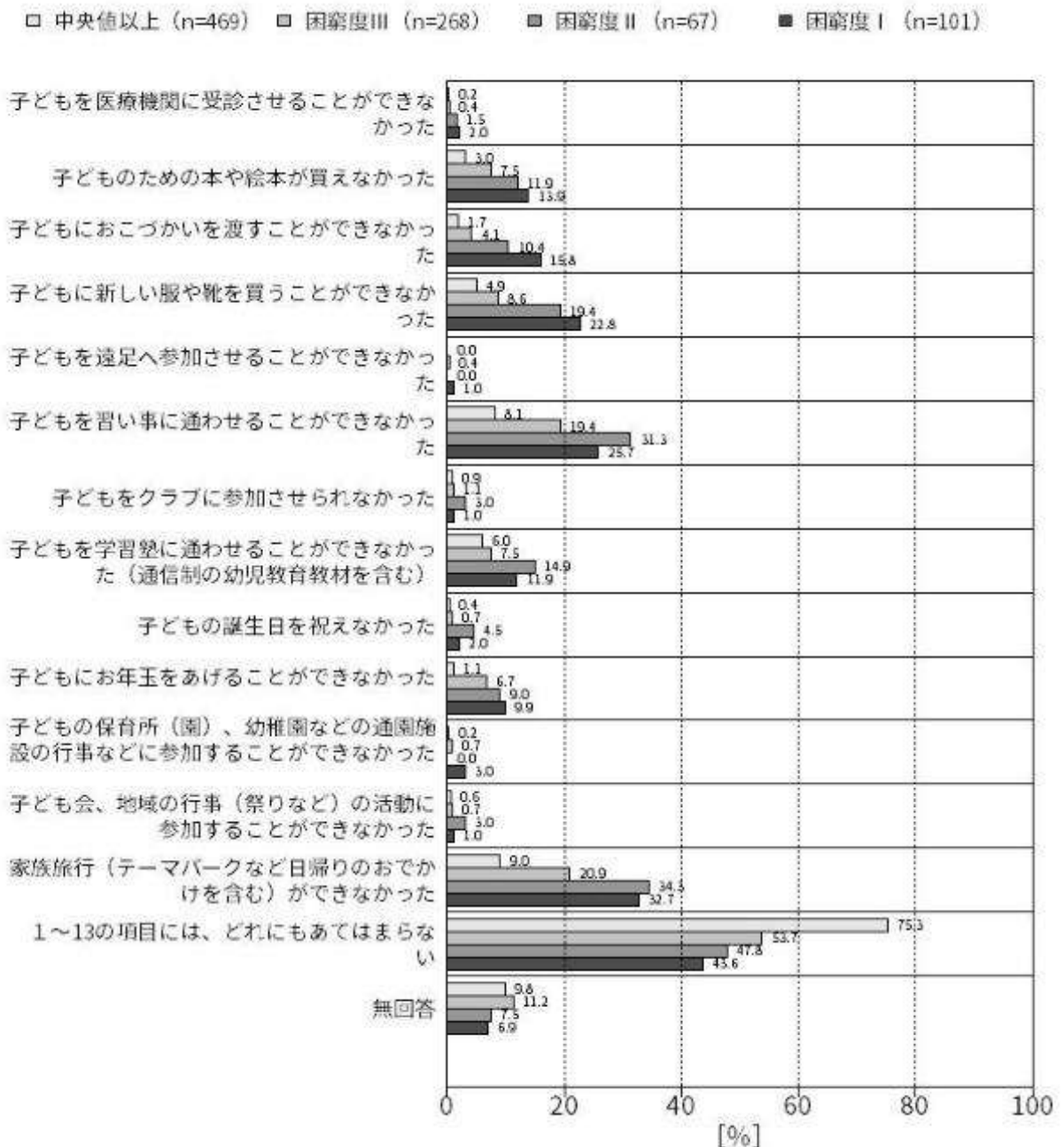
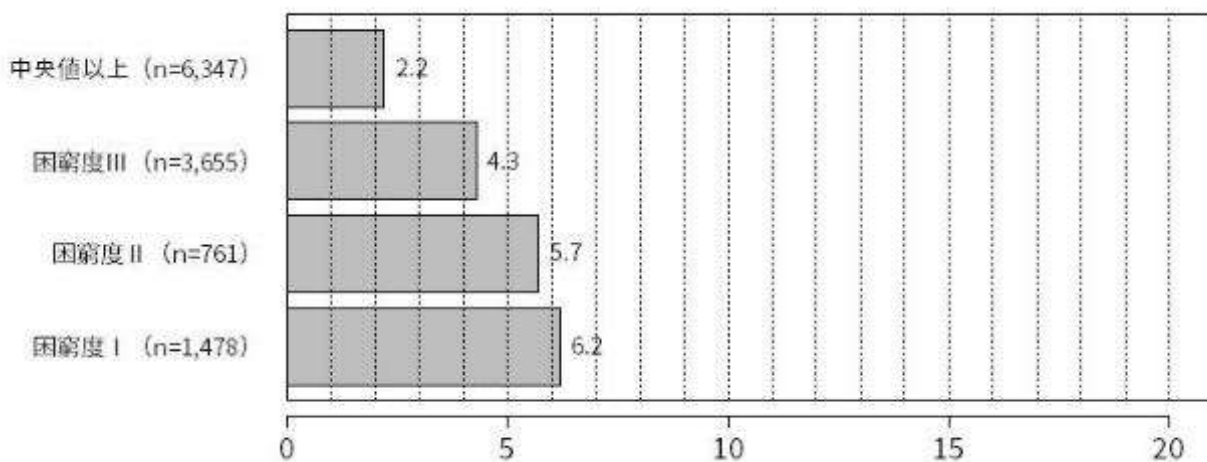


図 61. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度が高まるにつれて、できなかったことが増えていた。また、困窮度Ⅰ群では、中央値以上群に比べて、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」の割合が4.7倍、「子どものための本や絵本が買えなかった」の割合が4.6倍、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」の割合が3.6倍となっていた。

困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問6）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

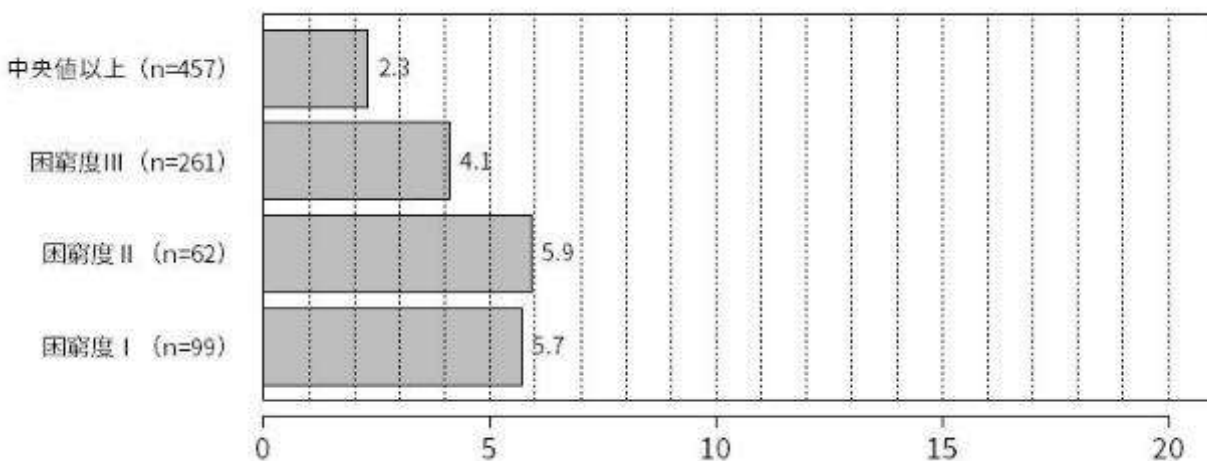
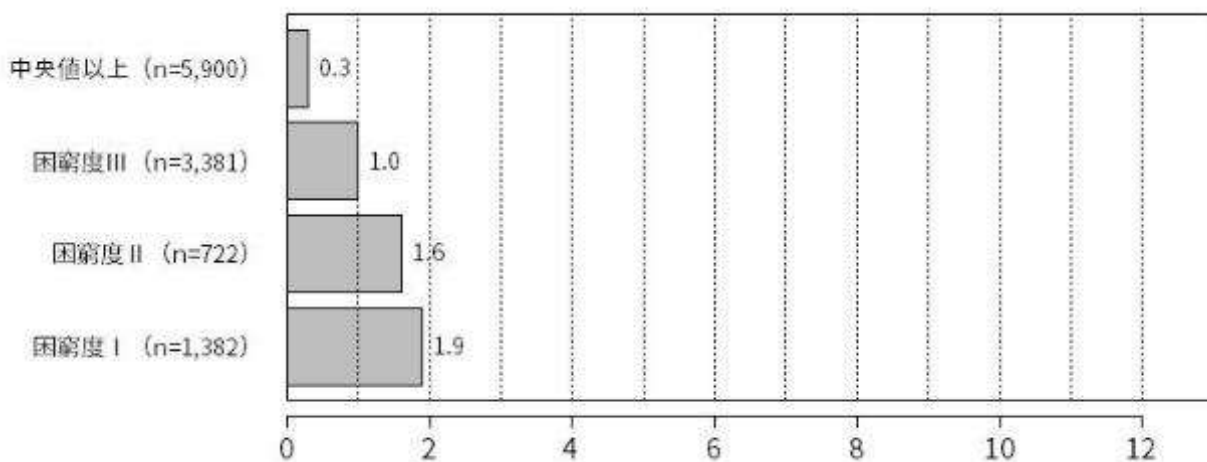


図 62. 困窮度別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度 I 群では 5.7 個であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 29）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

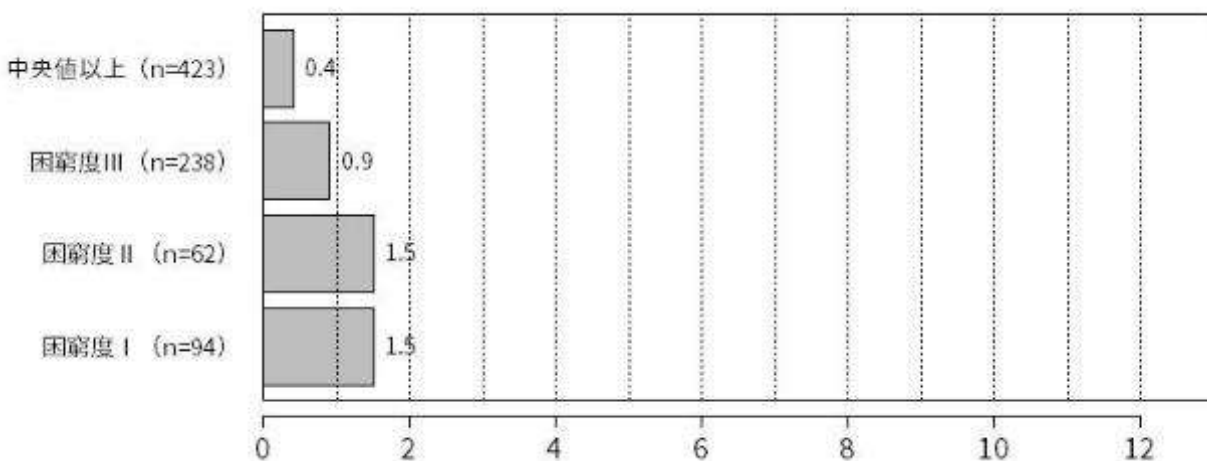
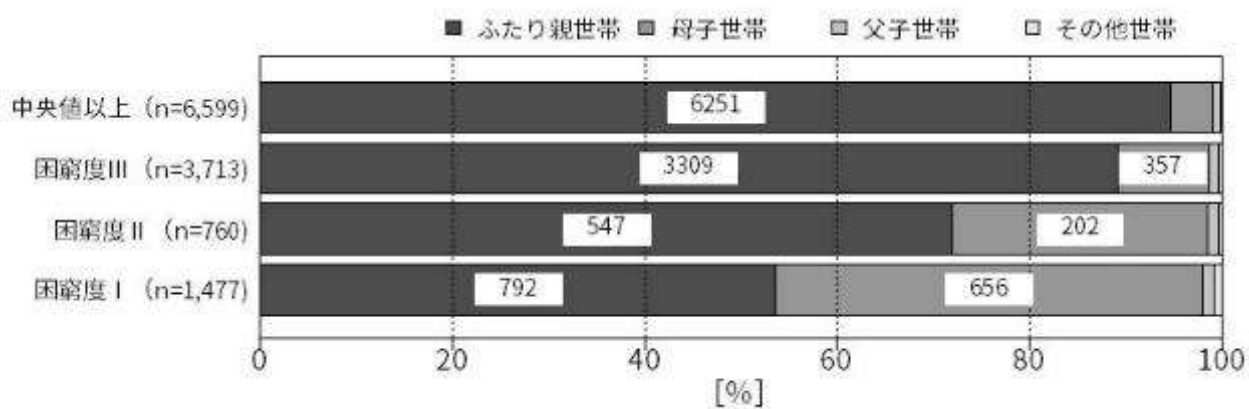


図 63. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと

困窮度が高まるにつれて、該当数が多くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群では 1.5 個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（問 3-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

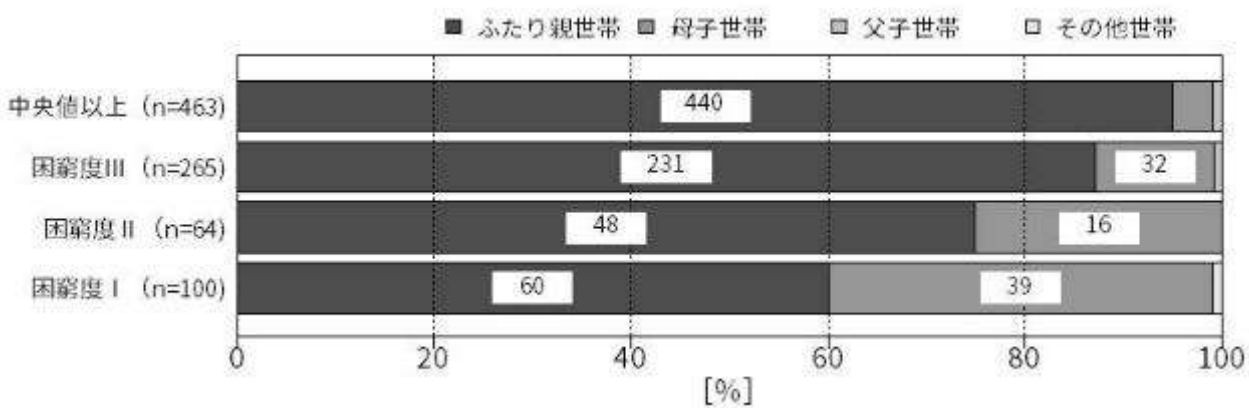
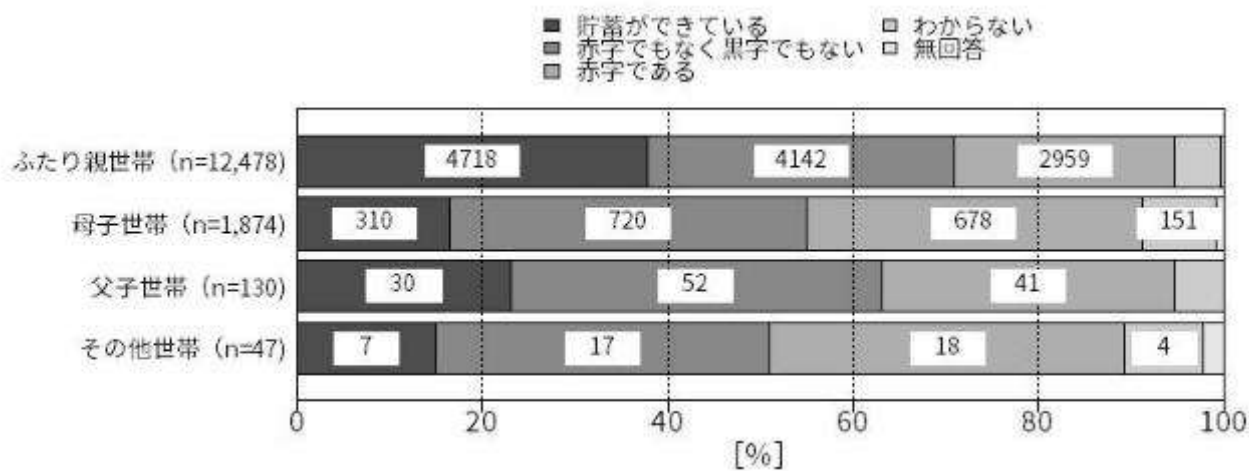


図 64. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度が高まるにつれ、ふたり親世帯の割合が低くなり、母子世帯の割合が高くなる。困窮度Ⅰ群では、「母子世帯」の割合が高くなっており、39.0%であった。

世帯構成別に見た、家計状況（問1×問5-1）

<大阪市 24区>



<大阪市住吉区>

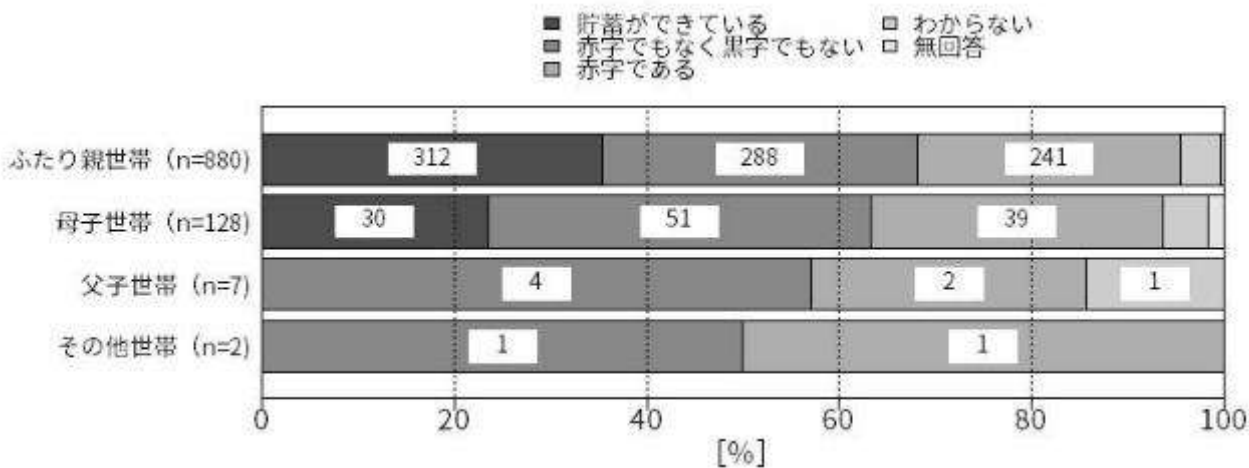


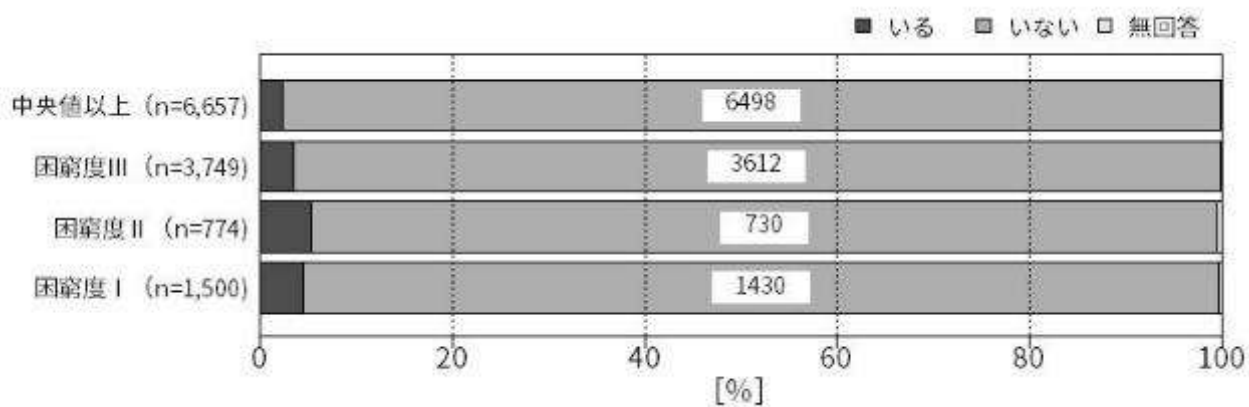
図 65. 世帯構成別に見た、家計状況

ふたり親世帯では 35.5%が「貯蓄ができている」が、母子世帯では「赤字でも黒字でもない」「赤字である」が多い（それぞれ 39.8%、30.5%）。父子世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。



困窮度別に見た、介護または介助の必要な人（問 3-1-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

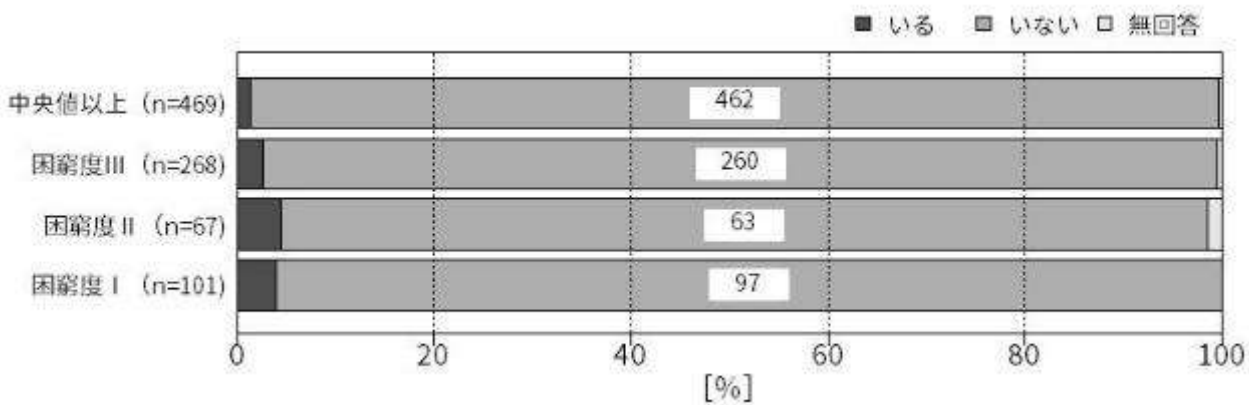
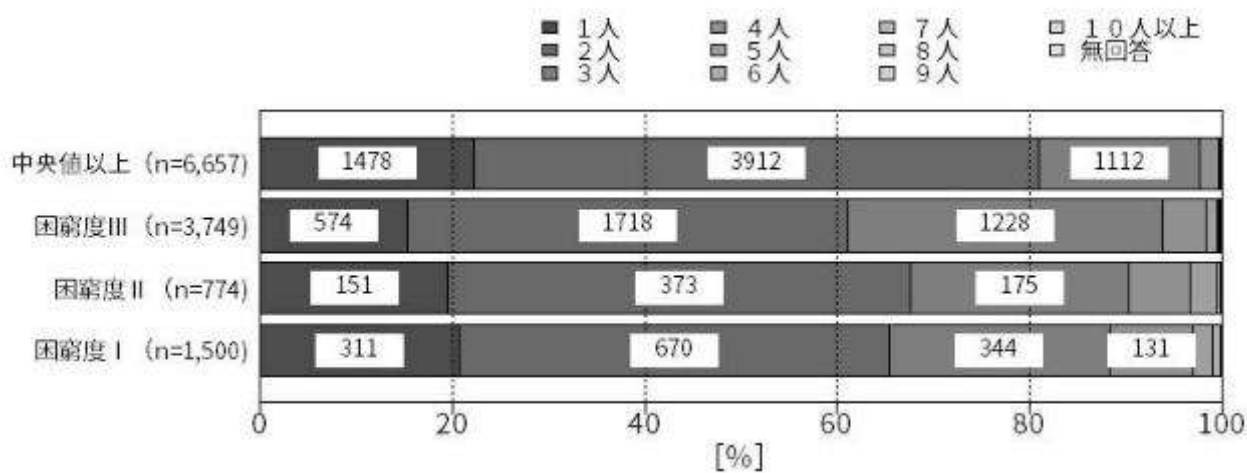


図 66. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な人

困窮度が厳しくなるにつれて、介護・介助の必要な人がいる割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、子どもの人数（問 3-1-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

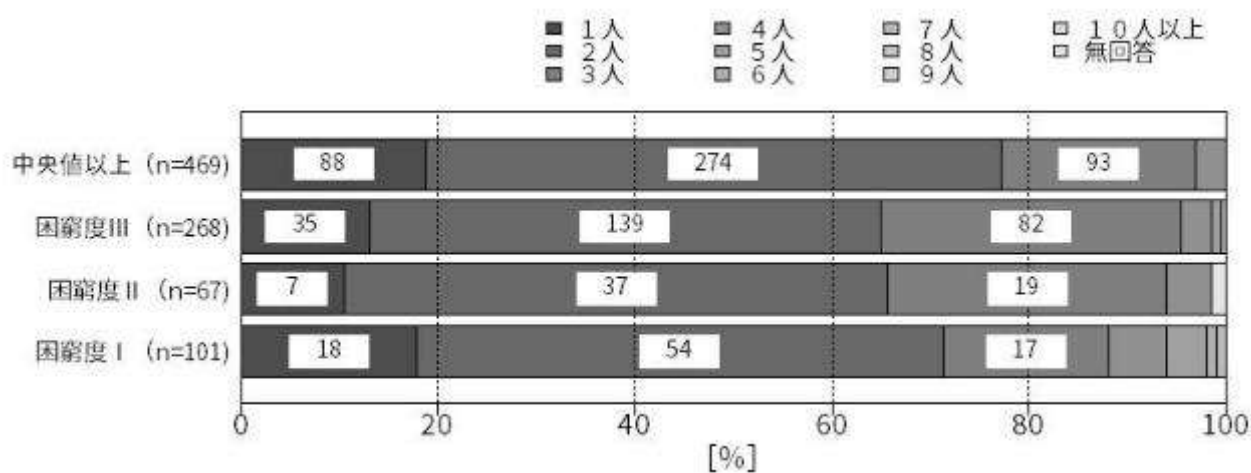
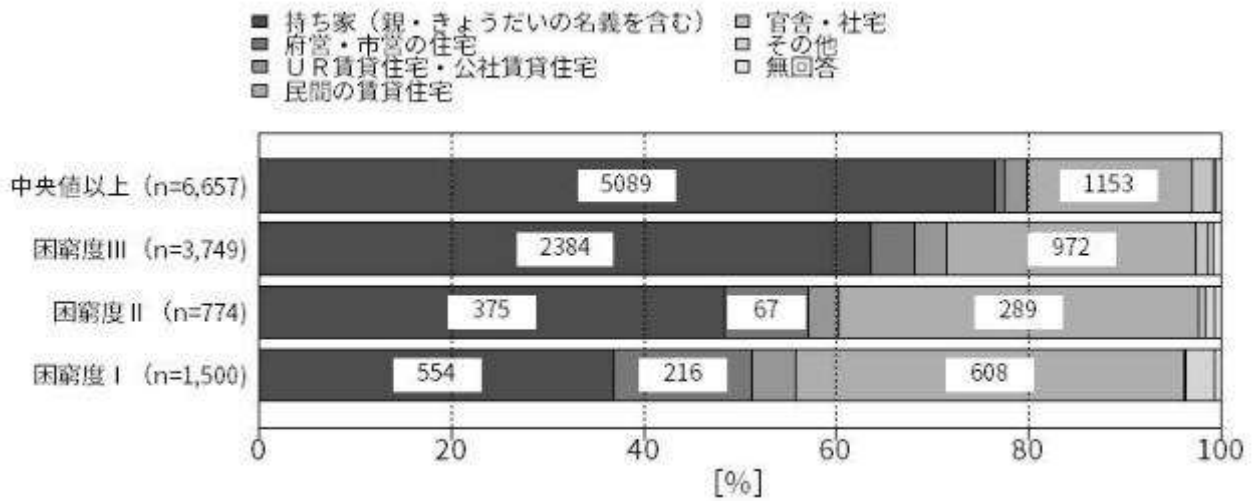


図 67. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度Ⅰでは、子どもの人数が3人以上の世帯が28.7%を占めていた。

困窮度別に見た、住居（問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

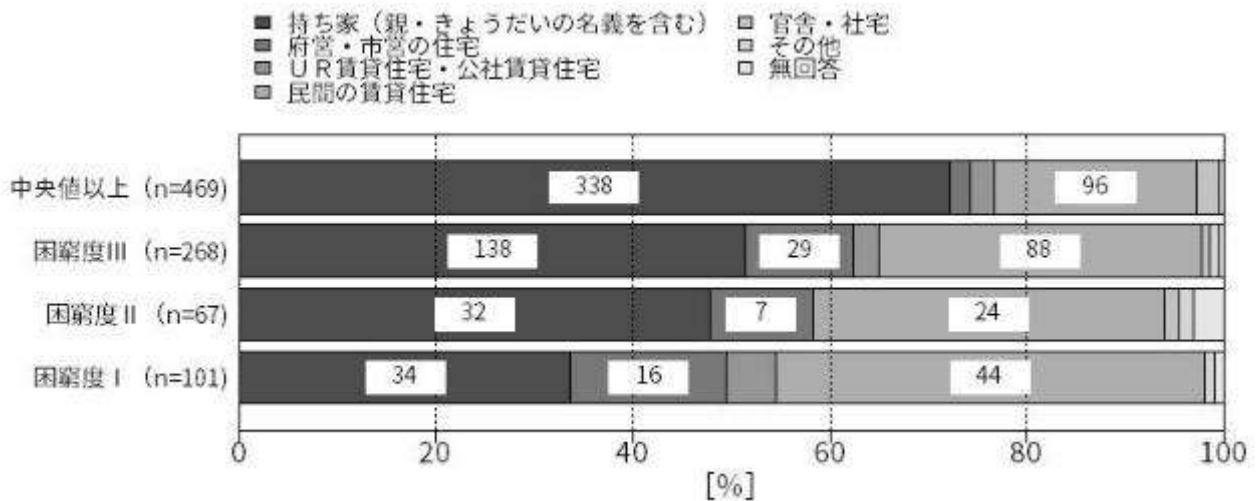
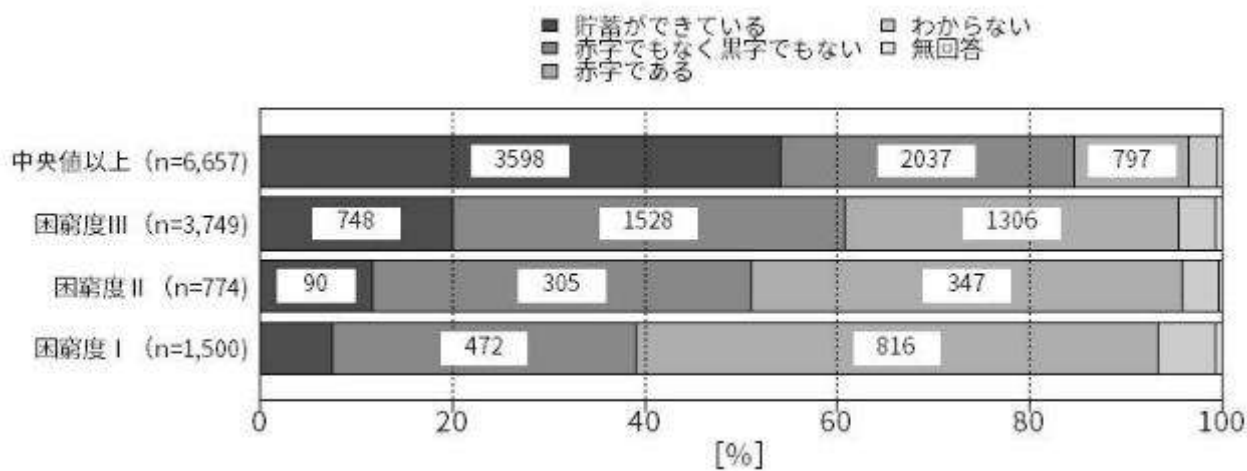


図 68. 困窮度別に見た、住居

困窮度が高まるにつれて持ち家の保有率は低くなっている傾向にある。困窮度Ⅰ群では、「府営・市営の住宅」が15.8%（中央値以上群に対して7.5倍）、「民間の賃貸住宅」が43.6%（2.1倍）、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が5.0%（1.9倍）であった。

困窮度別に見た、家計状況（問 5-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

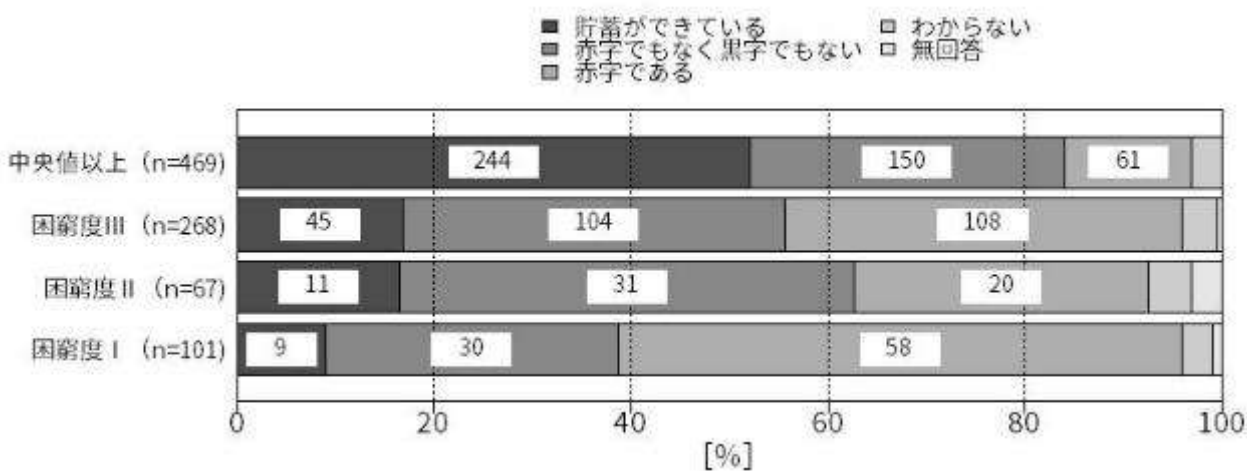
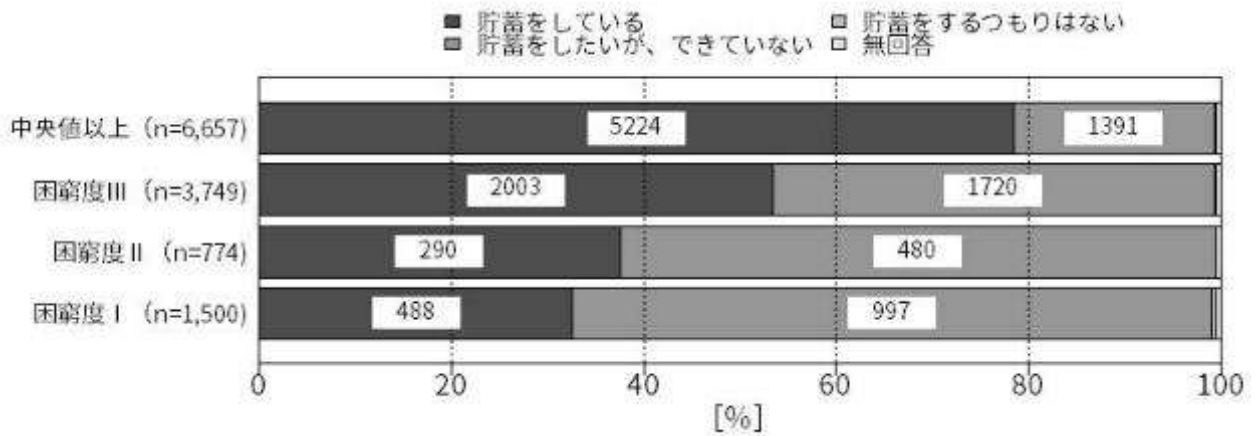


図 69. 困窮度別に見た、家計状況

困窮度が高まるにつれて、貯蓄ができている割合が低くなり、赤字である割合が高くなる傾向にある。困窮度Ⅰ群では、「赤字でもなく黒字でもない」が 29.7%、「赤字である」が 57.4%を占めていた。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

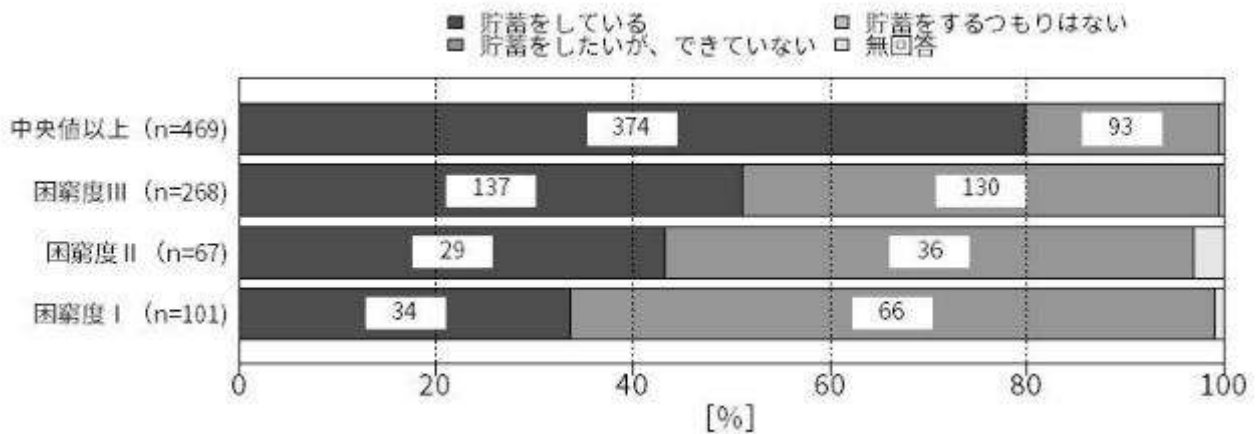


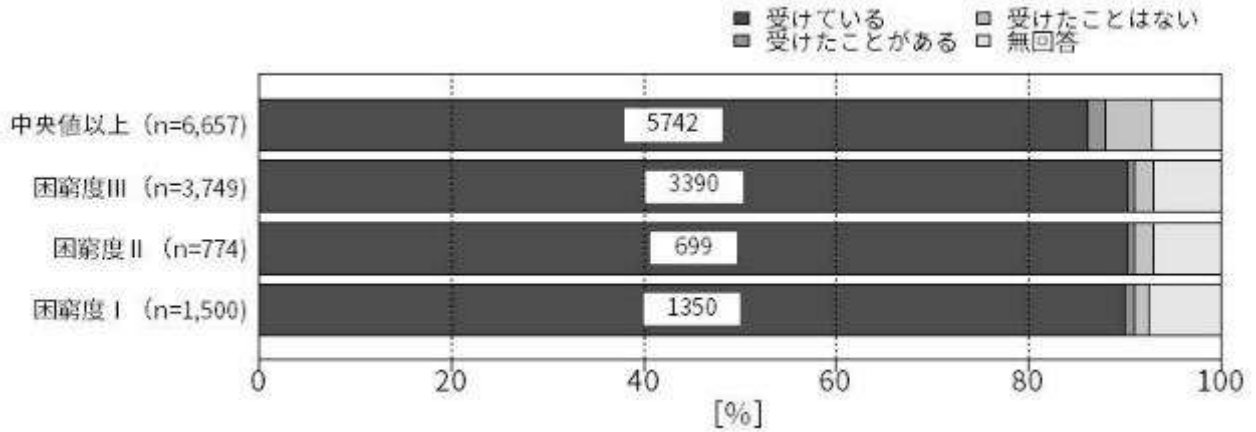
図 70. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度が高まるにつれて、貯蓄をしている割合が低くなり、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答をした割合が高くなっている傾向にある。困窮度Ⅰ群では、「貯蓄をしたいが、できていない」が 65.3%、「貯蓄をするつもりはない」が該当なしであった。

## (2) 家庭状況 (制度等)

### 困窮度別に見た、児童手当 (問 41-3-1)

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

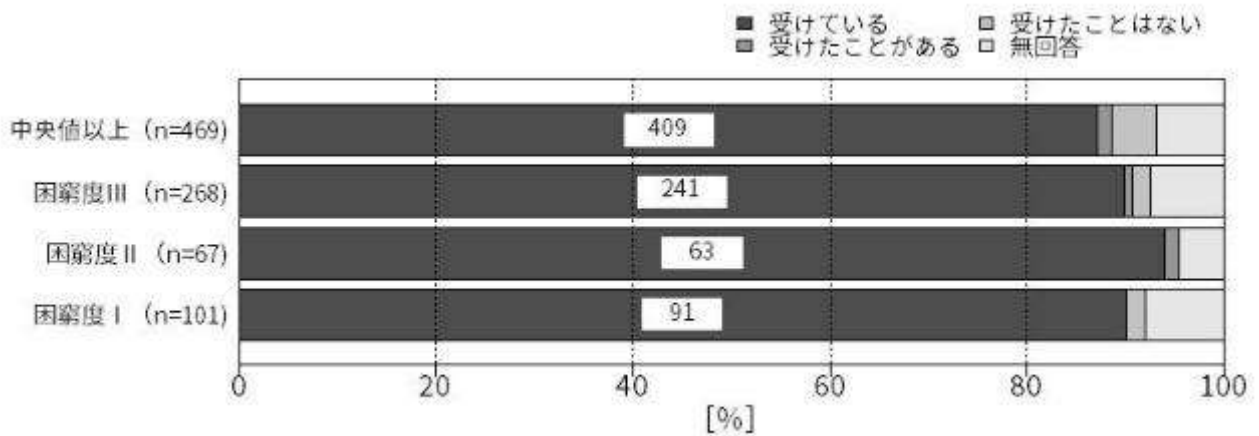
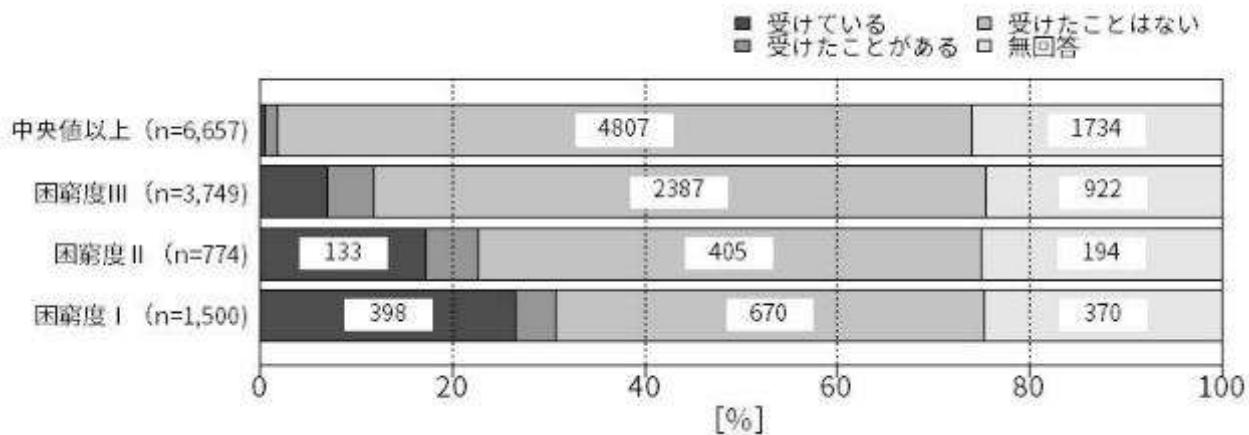


図 71. 困窮度別に見た、児童手当

中央値以上群以外の世帯では約 9 割以上の世帯が、児童手当を受けていた。

困窮度別に見た、就学援助（問 41-3-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

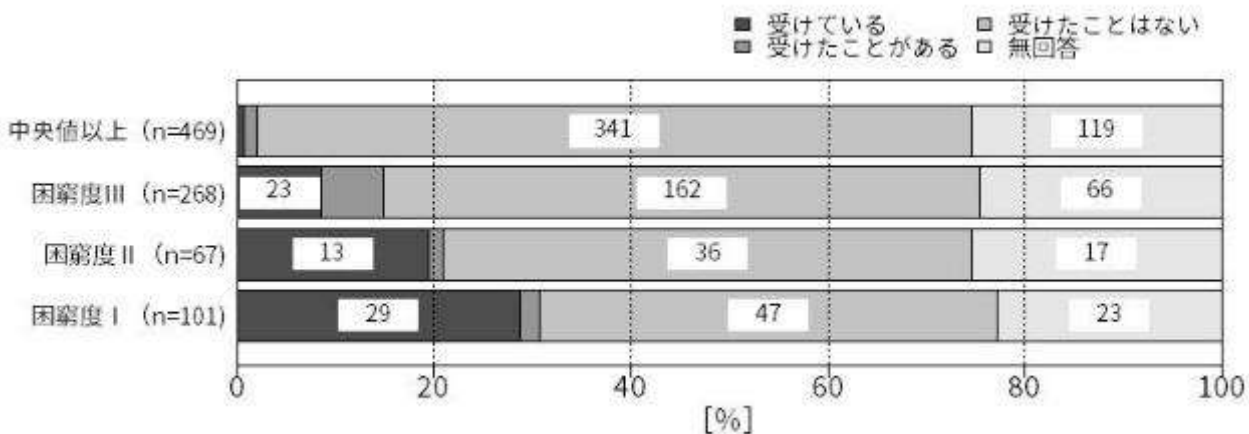
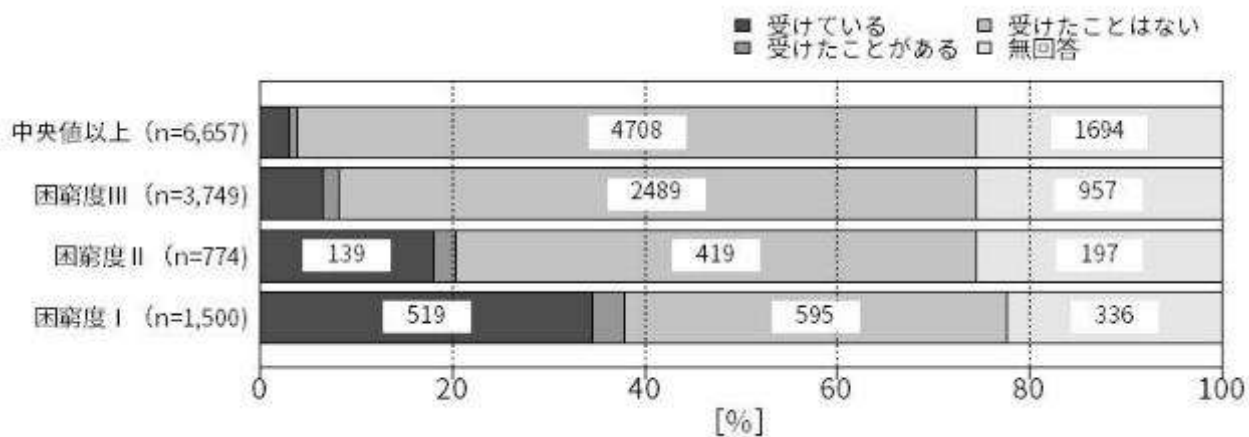


図 72. 困窮度別に見た、就学援助

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては28.7%となった。いずれの群においても無回答の割合が同程度見られる。

困窮度別に見た、児童扶養手当（問 41-3-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

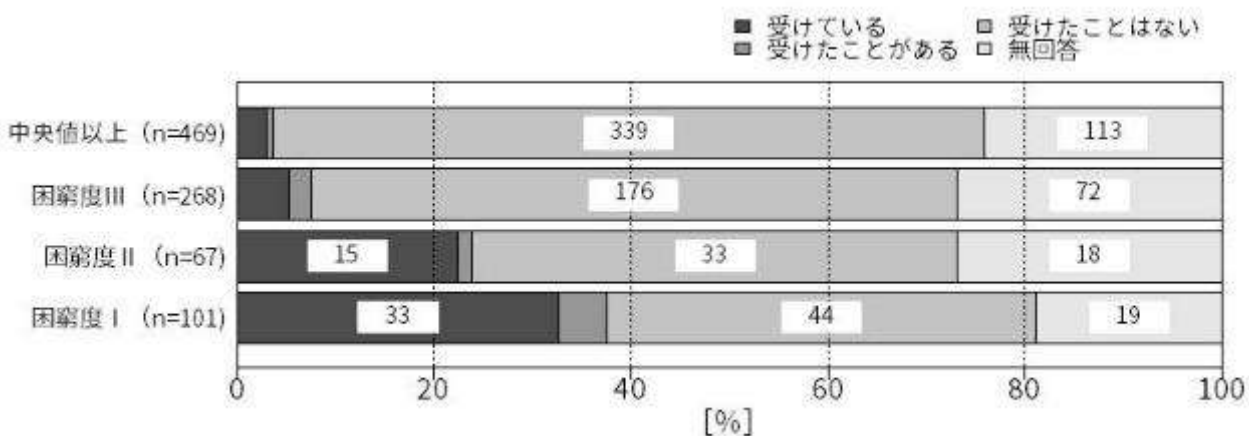


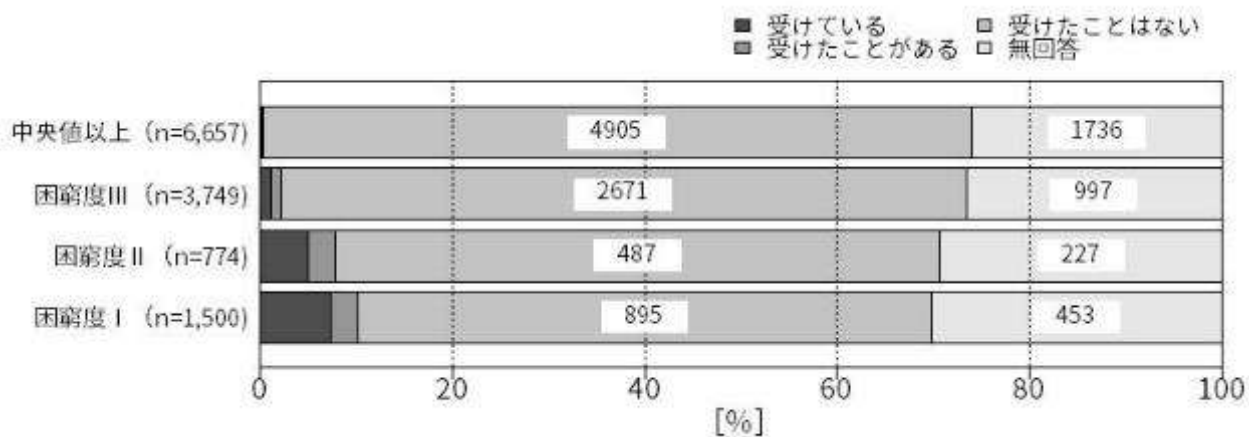
図 73. 困窮度別に見た、児童扶養手当

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては32.7%となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。



困窮度別に見た、生活保護（問 41-3-5）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

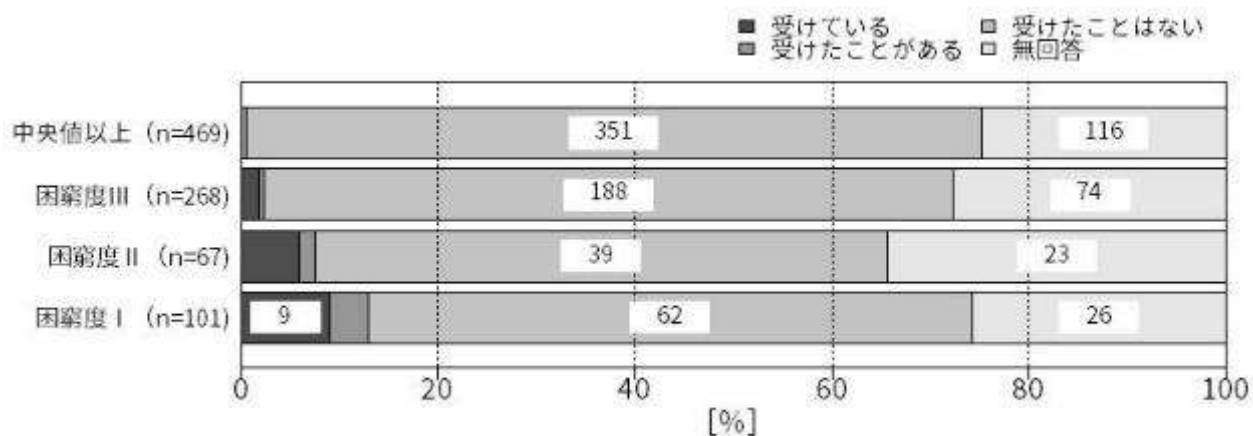
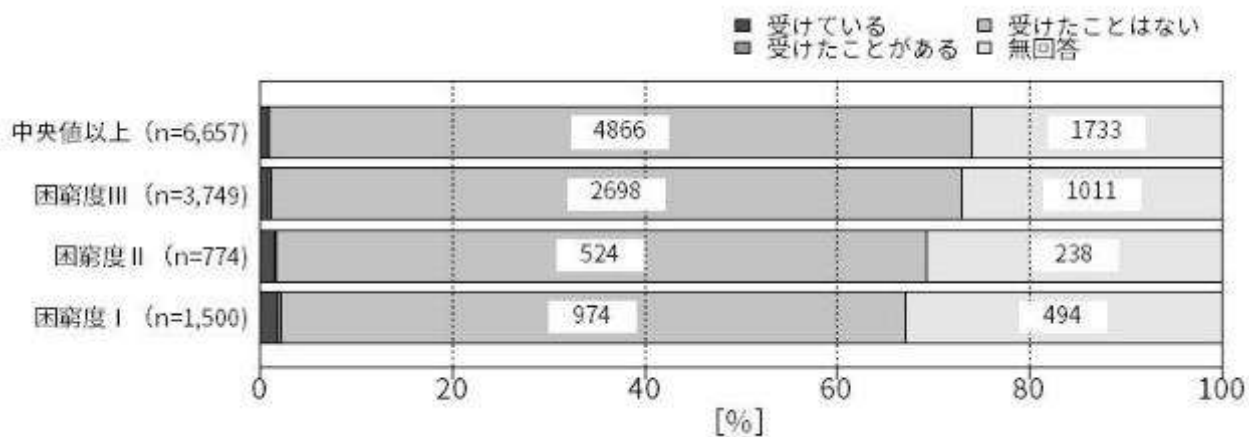


図 74. 困窮度別に見た、生活保護

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 8.9%となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）（問 41-3-7）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

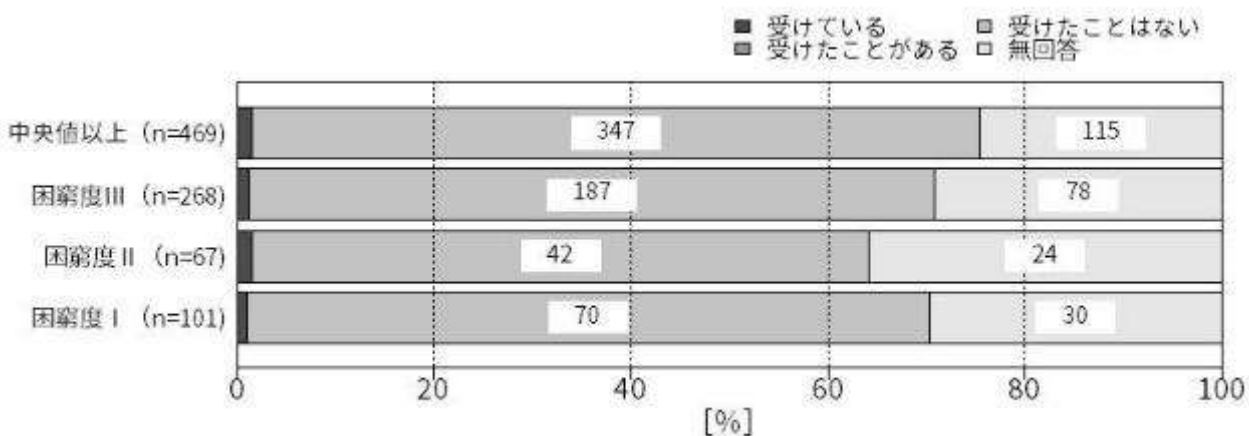
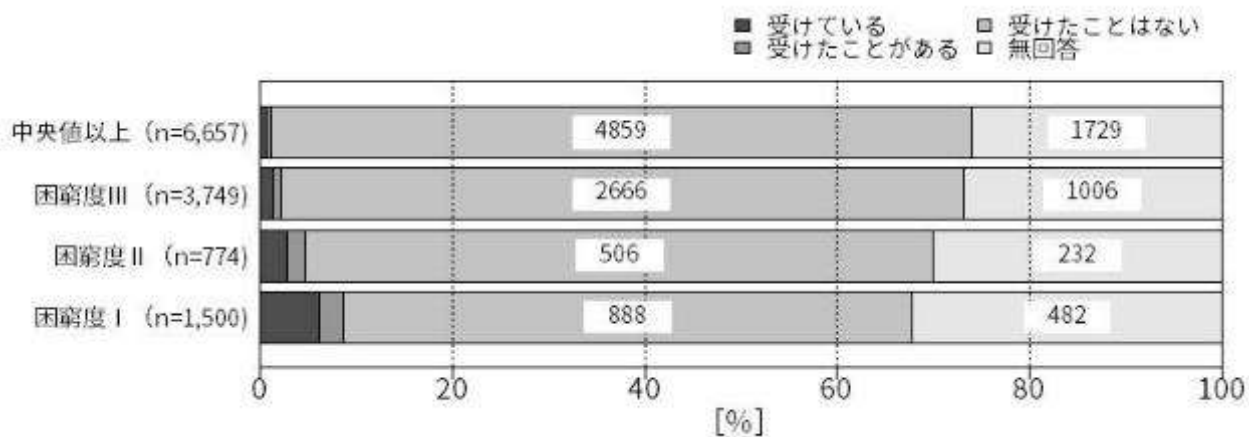


図 75. 困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）

各群において一定以上、受けているという回答が見られた。困窮度Ⅰ群においては 1.0%となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、養育費（問 42-3-9）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

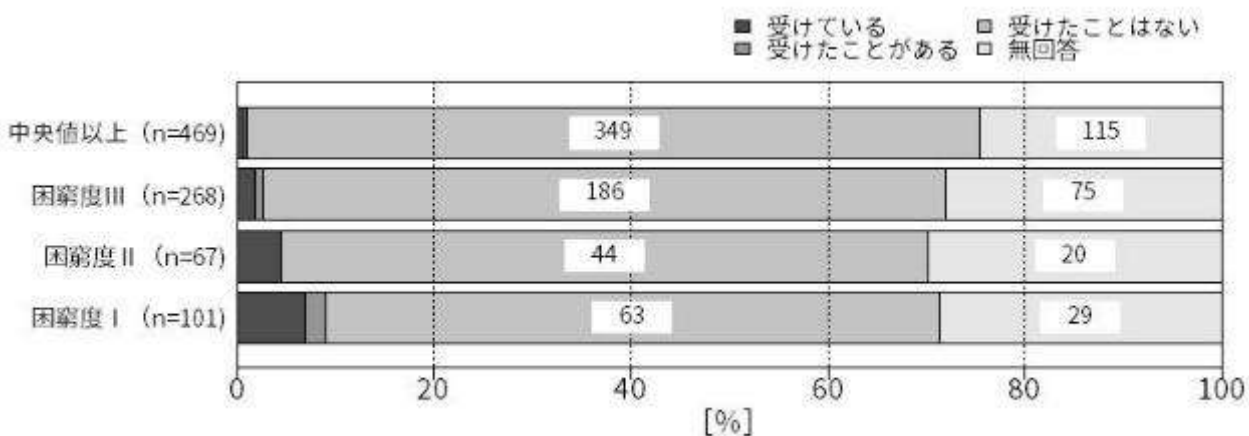
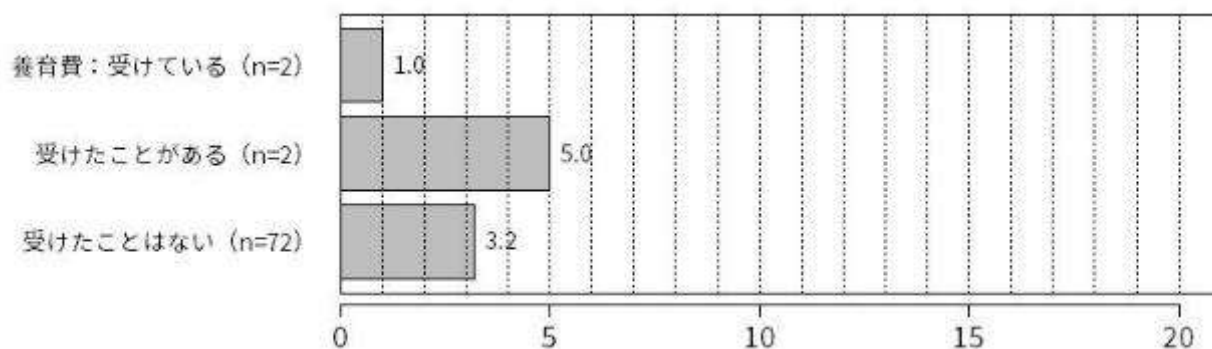


図 76. 困窮度別に見た、養育費

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度Ⅰでは、6.9%が受けていた。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

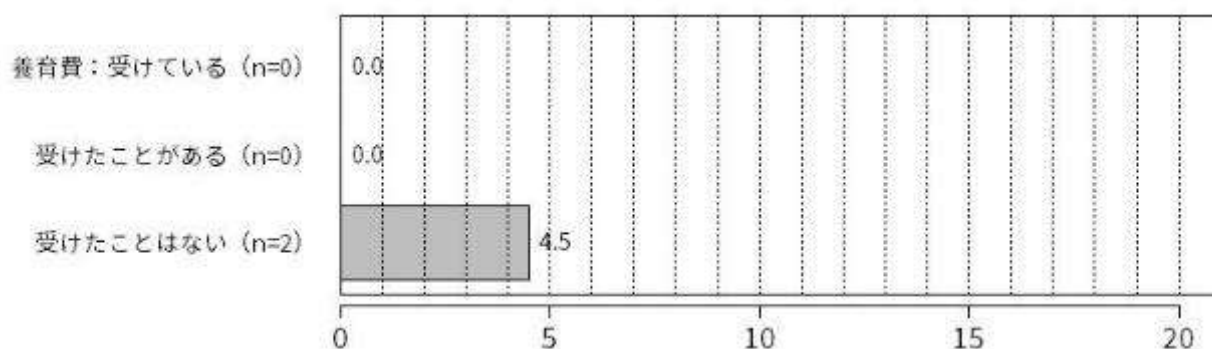
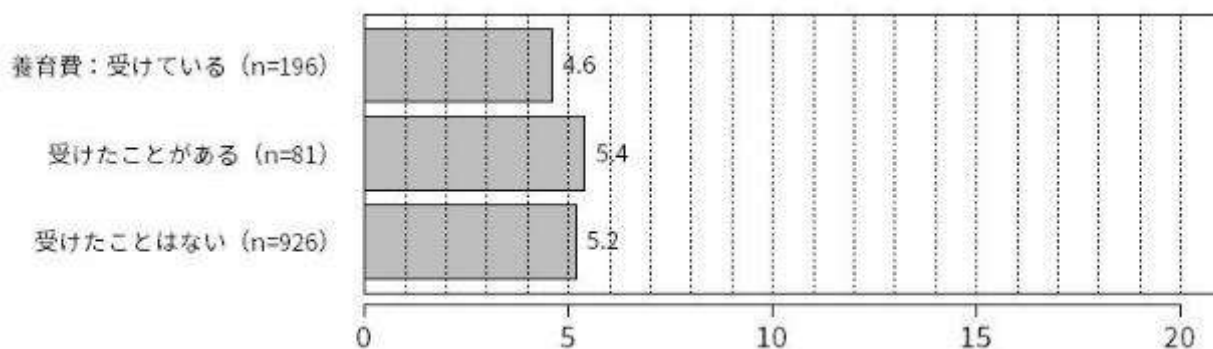


図 77. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均  
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

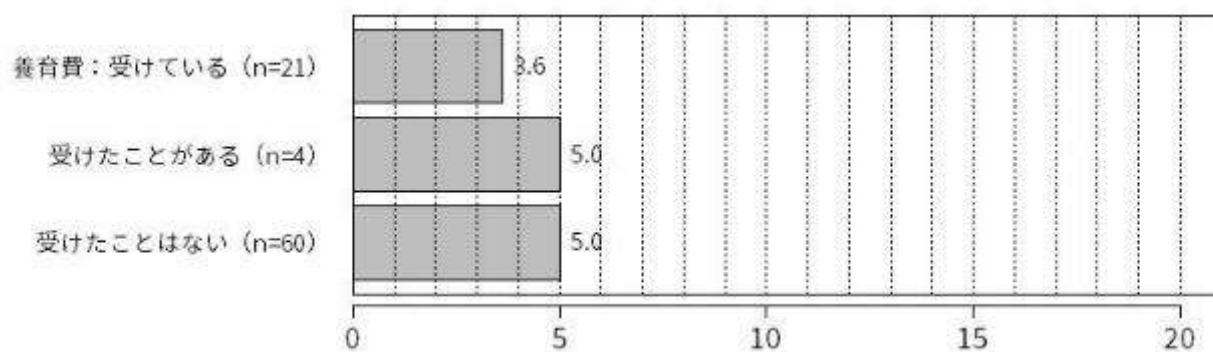
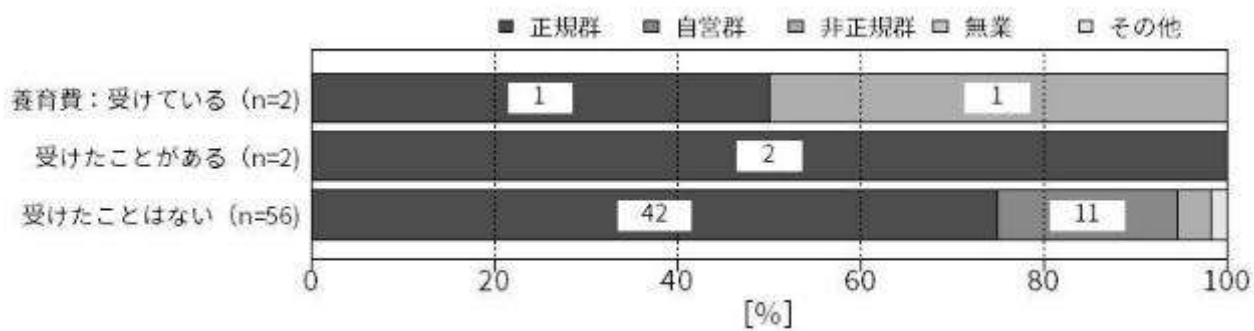


図 78. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均  
＜母子世帯＞

養育費を受けたことがある世帯は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。  
養育費を受けたことのない世帯では、該当数が多い傾向にあった。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

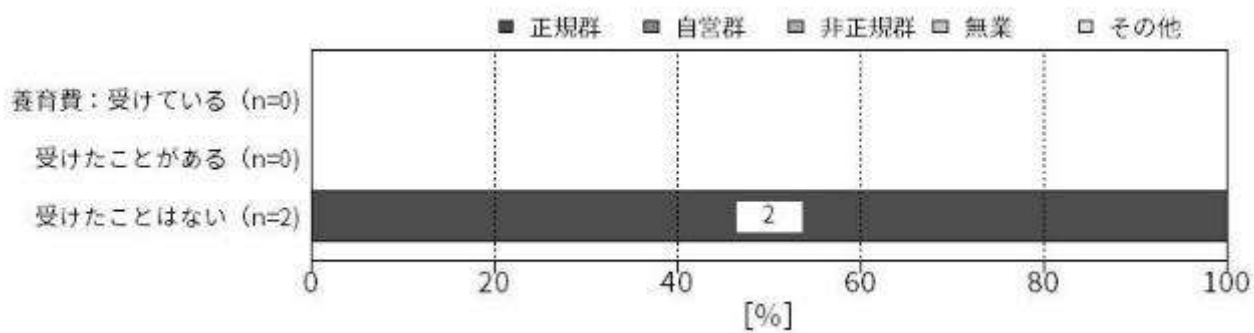
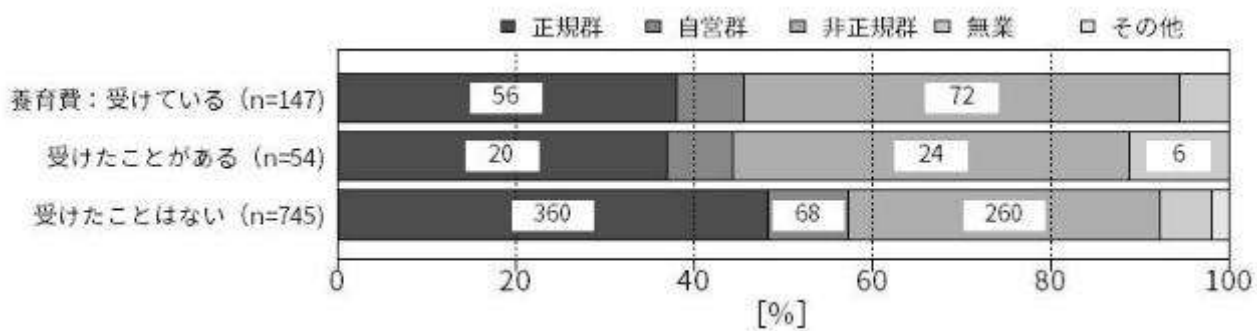


図 79. 養育費の受給別に見た、就労状況＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

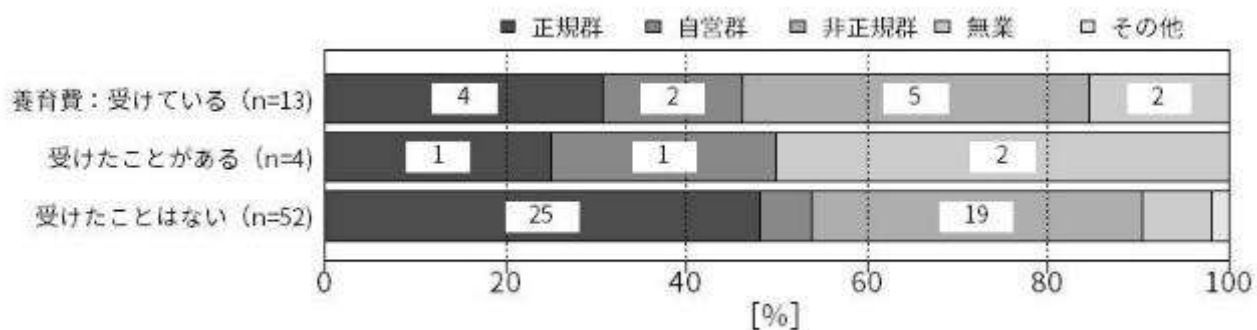
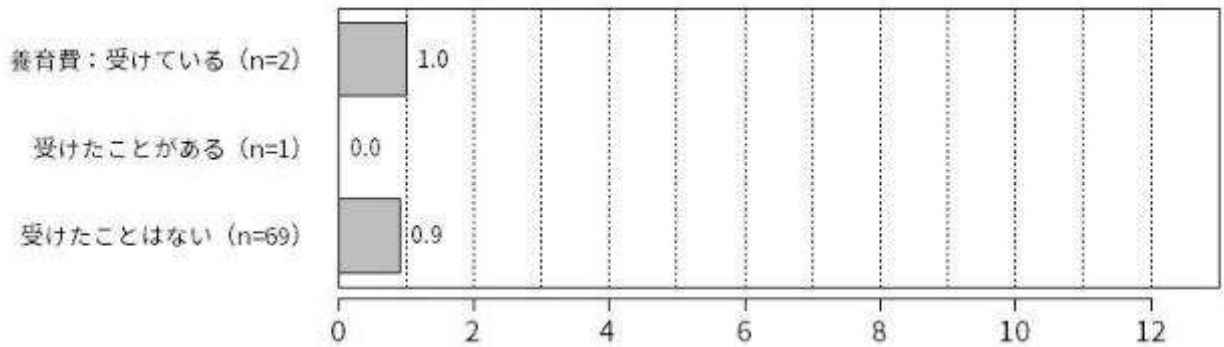


図 80. 養育費の受給別に見た、就労状況＜母子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）  
 <父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

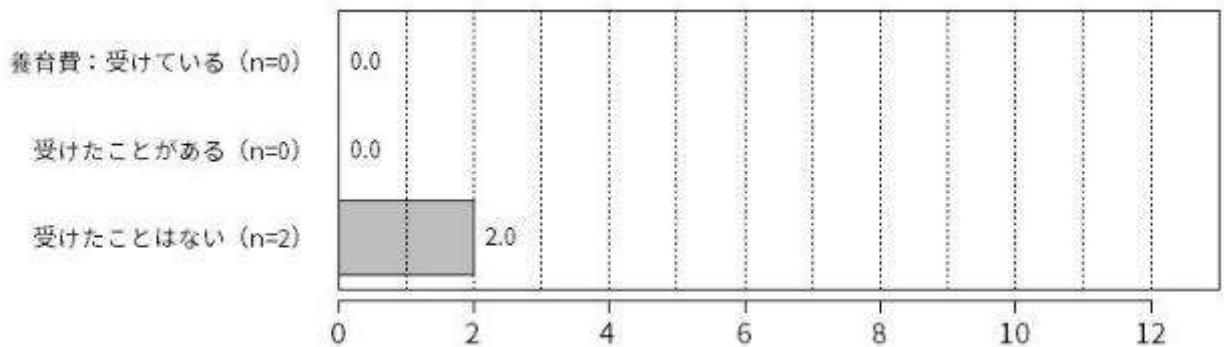


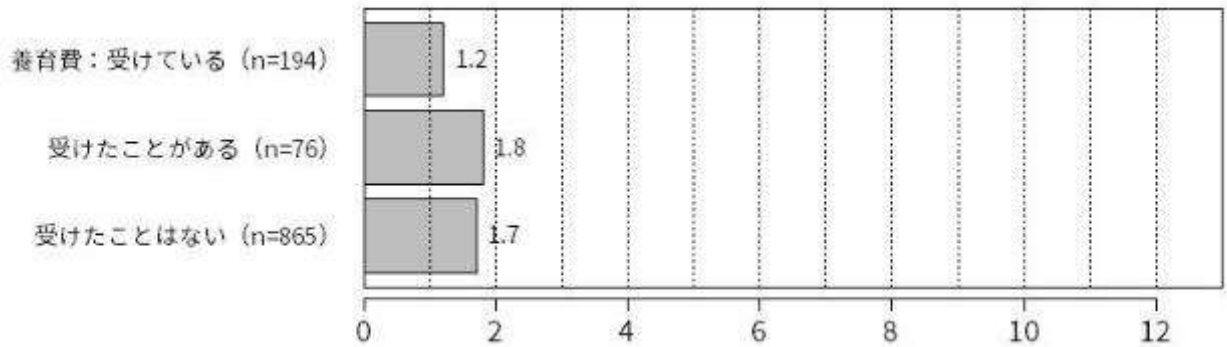
図 81. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと  
 <父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。



養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）  
 <母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

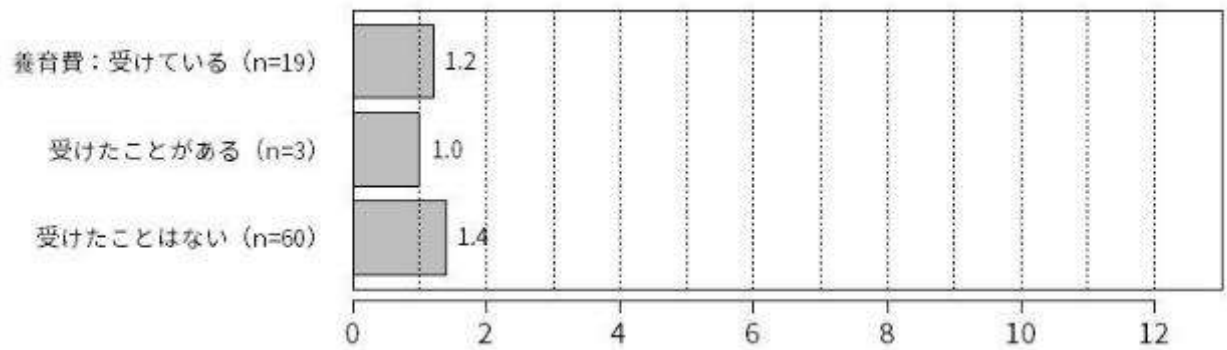
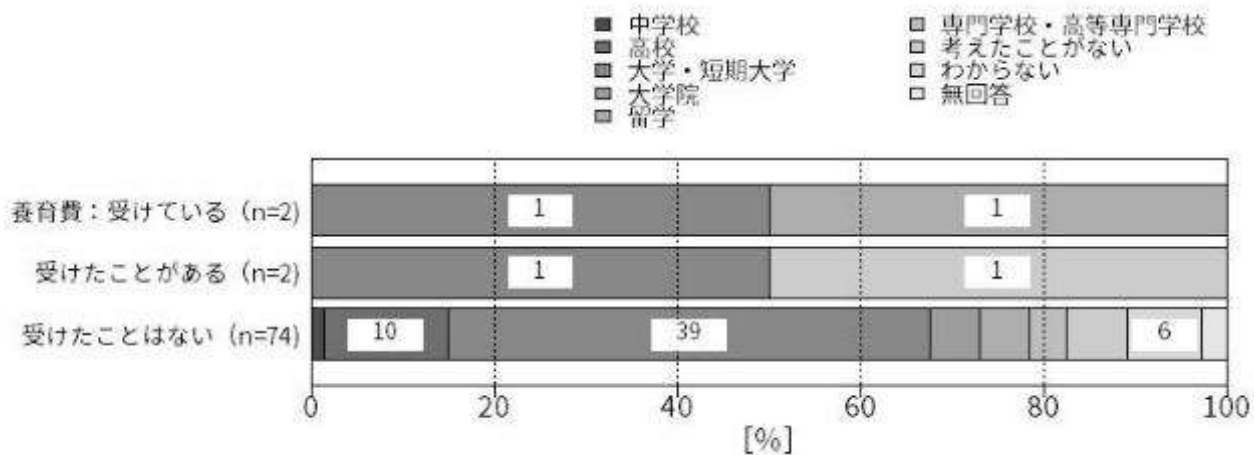


図 82. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと  
 <母子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32） <父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

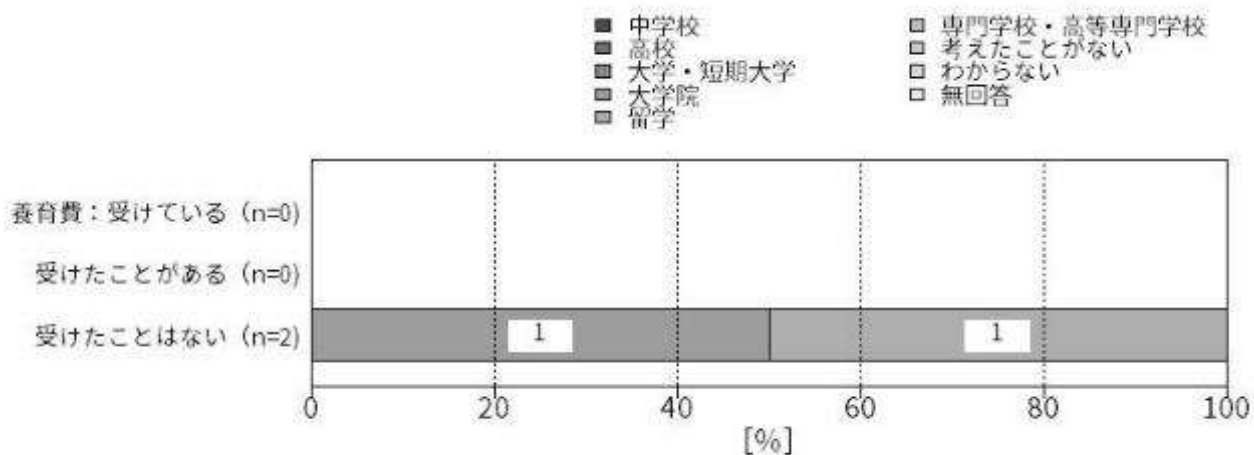
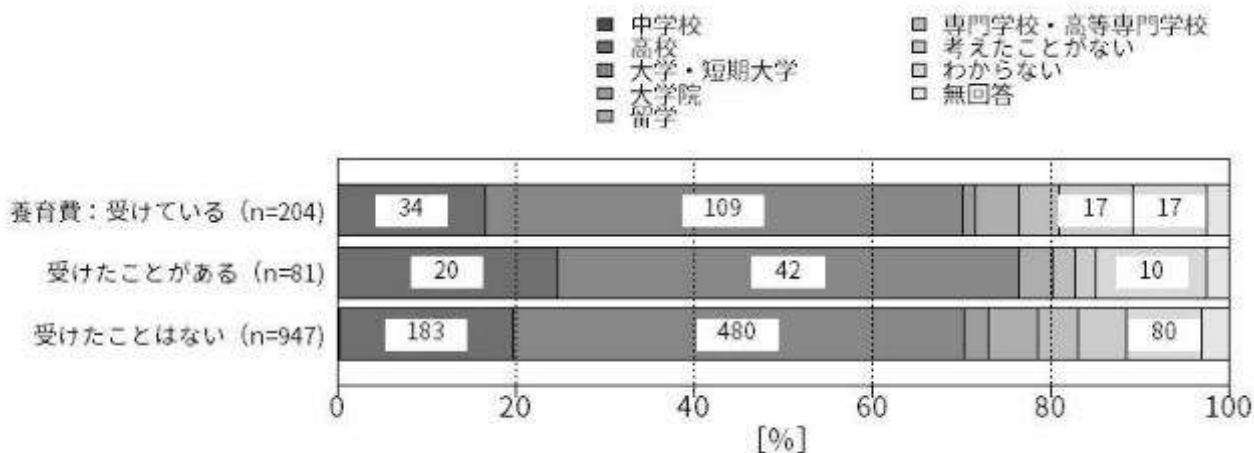


図 83. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望 <父子世帯>

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32） <母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

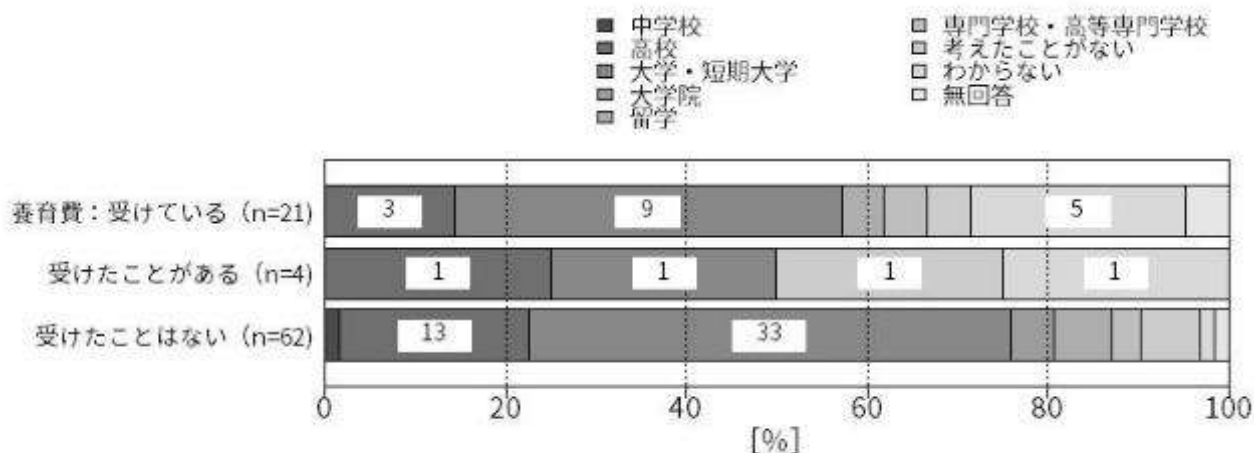
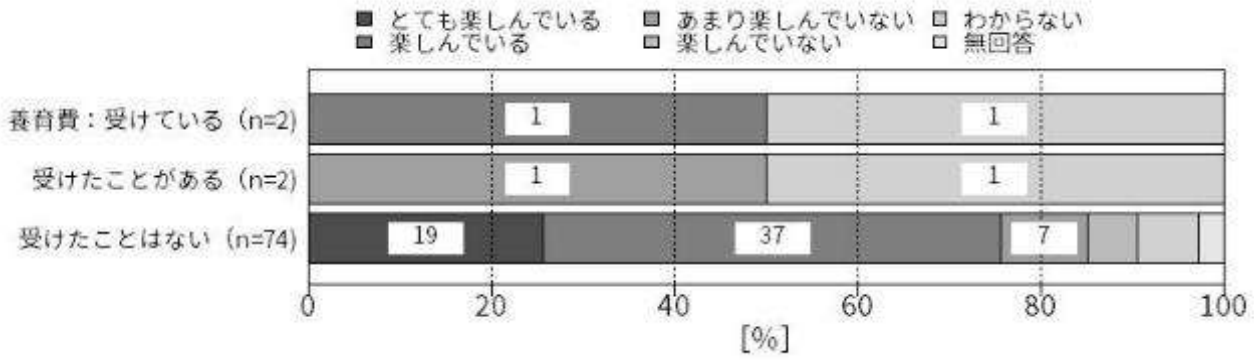


図 84. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望 <母子世帯>

養育費を受けたことがある世帯は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。養育費を受けたことがある世帯では「大学」と回答した割合が低くなっていた。

養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜父子世帯＞

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

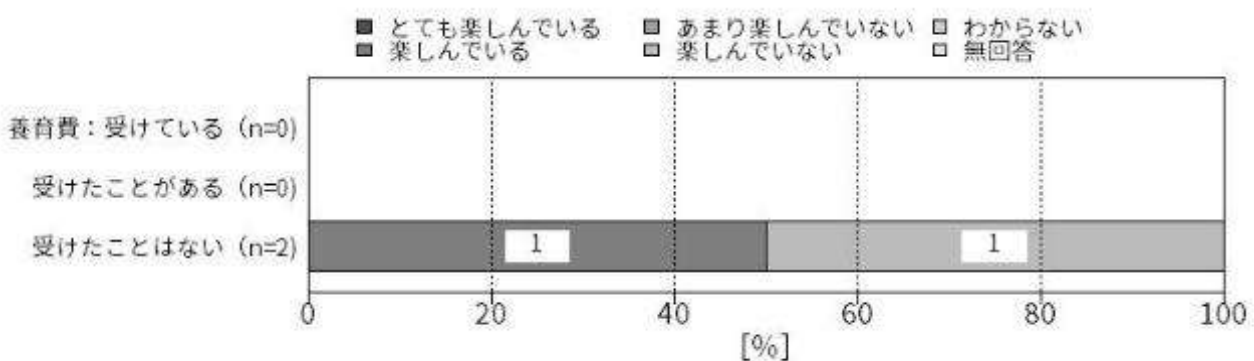
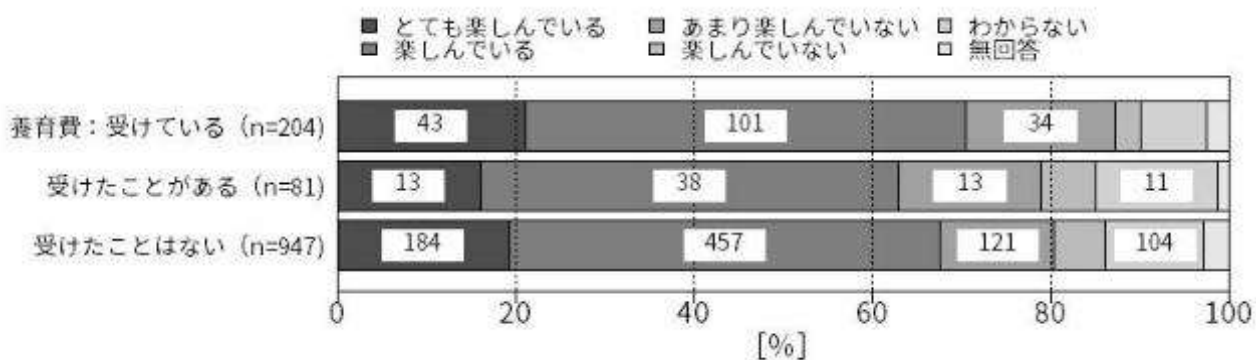


図 85. 養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる  
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

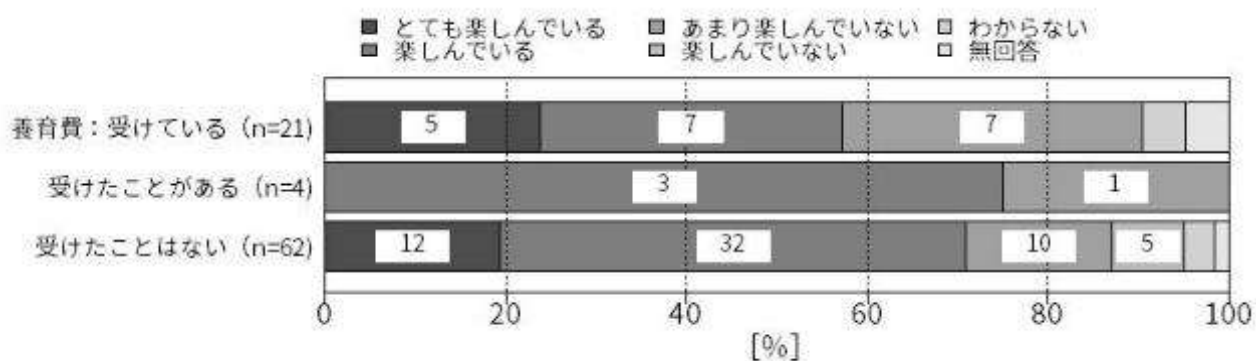
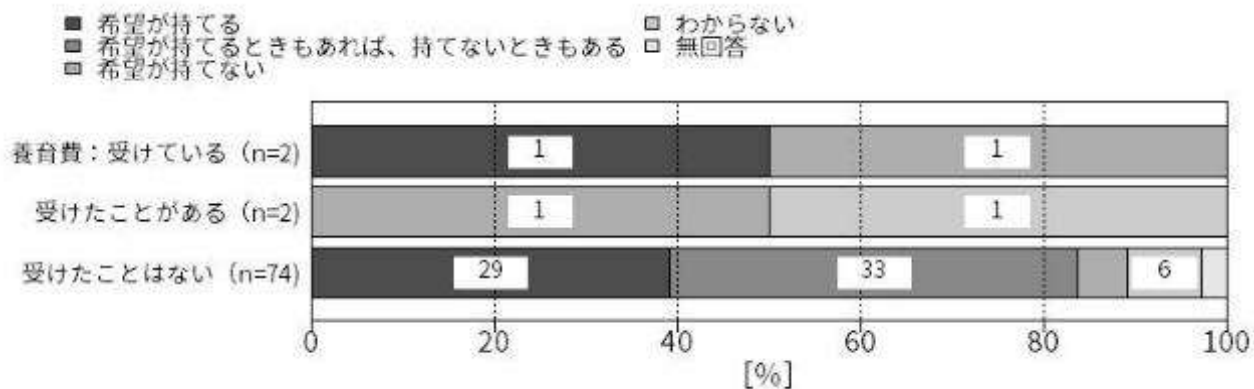


図 86. 養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる  
＜母子世帯＞

養育費を受けたことがある世帯は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

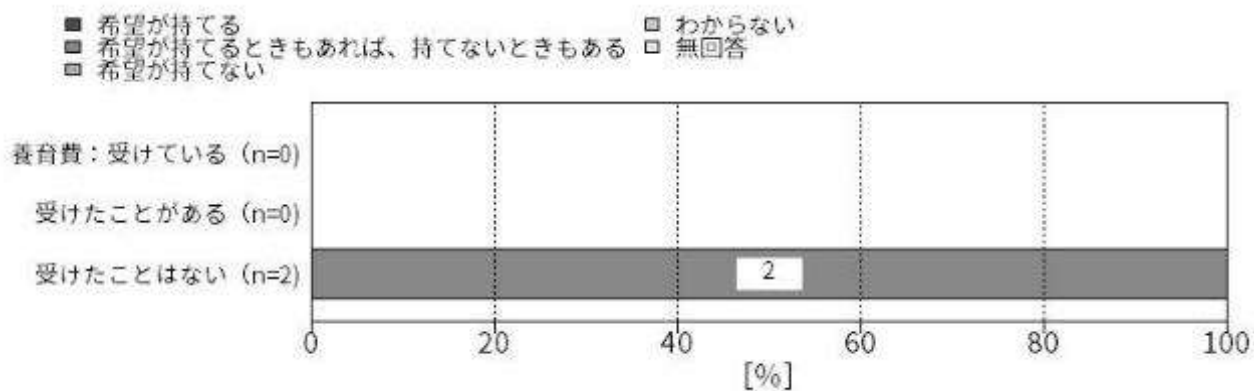
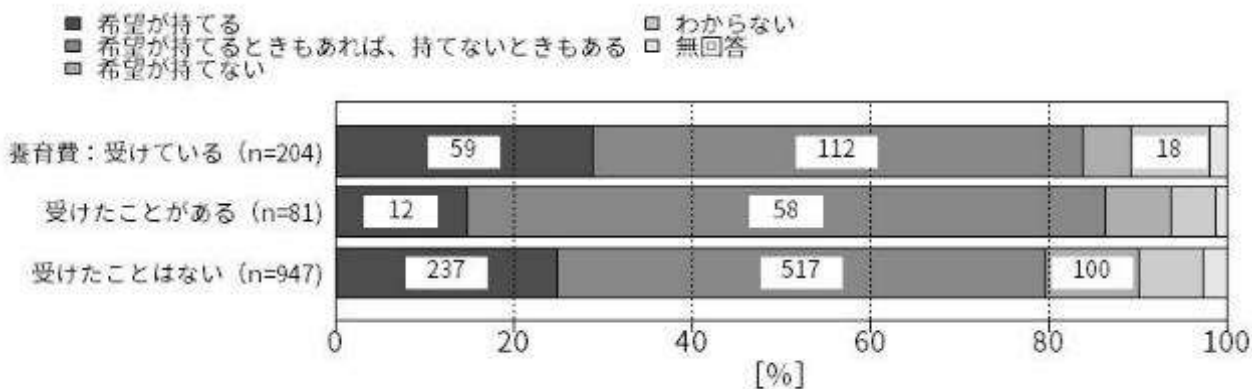


図 87. 養育費の受給別に見た、心の状態（２）将来への希望  
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

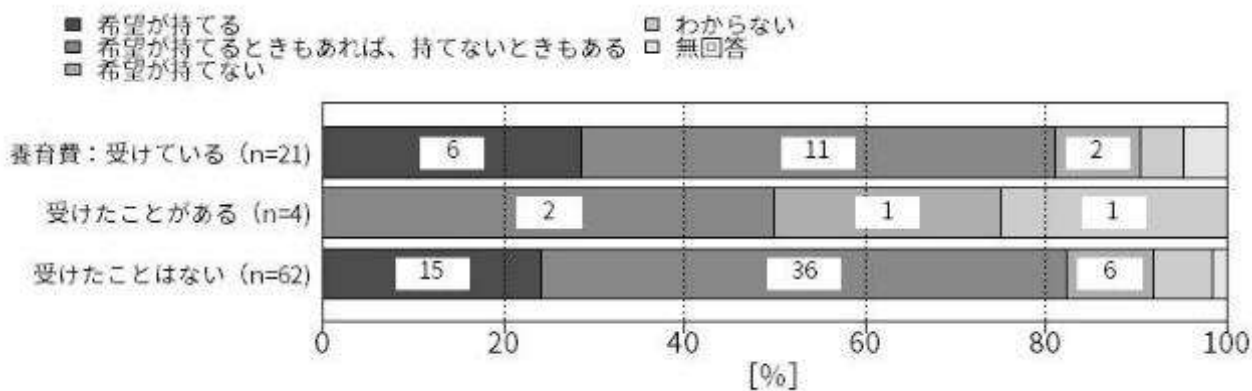


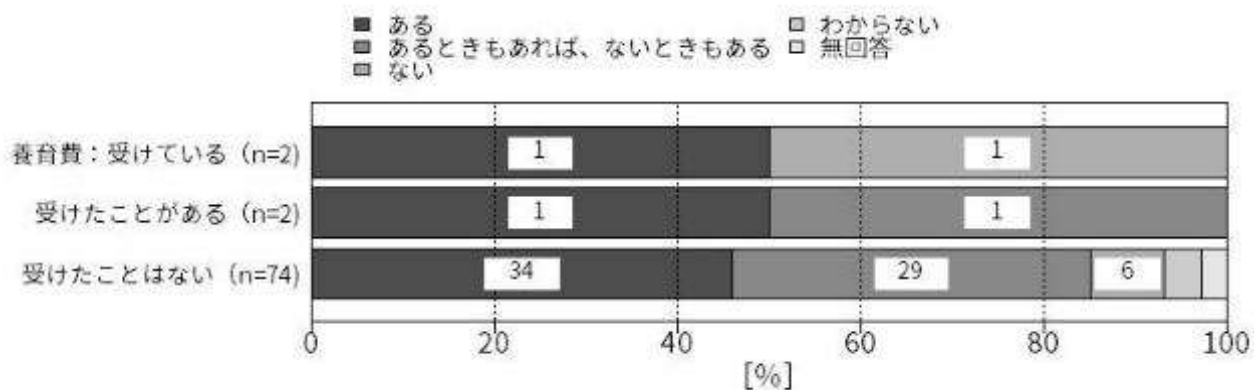
図 88. 養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望  
 ＜母子世帯＞

養育費を受けたことがある世帯は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。  
 養育費を受けている世帯・受けたことはない世帯で大きな差は見られなかった。

養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）

<父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

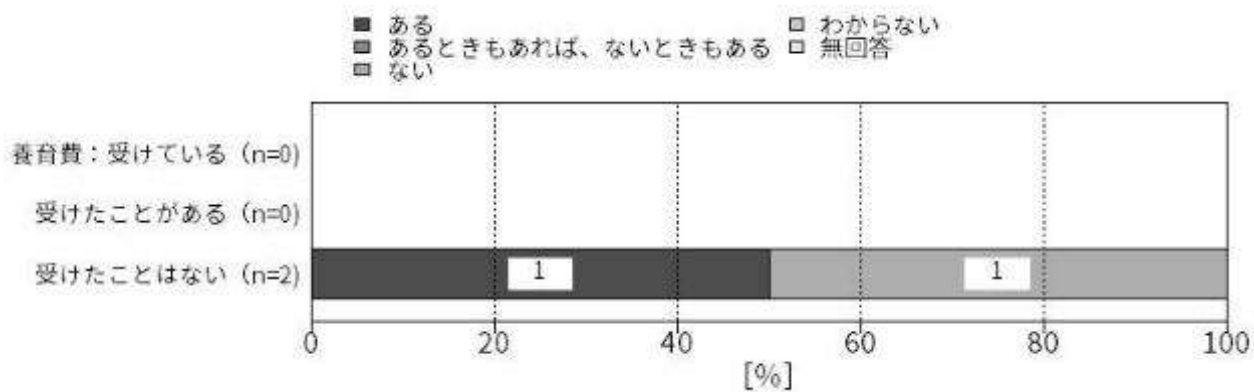


図 89. 養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの

<父子世帯>

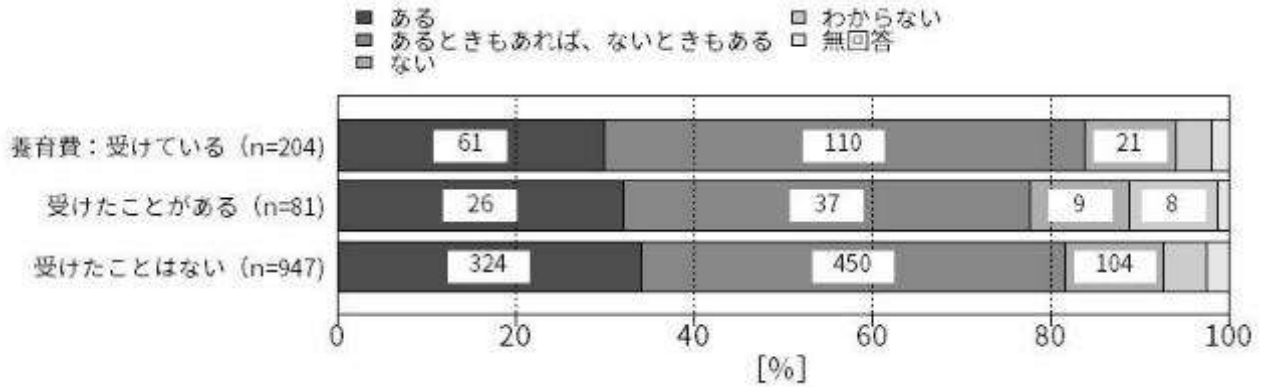
養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。



養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）

<母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

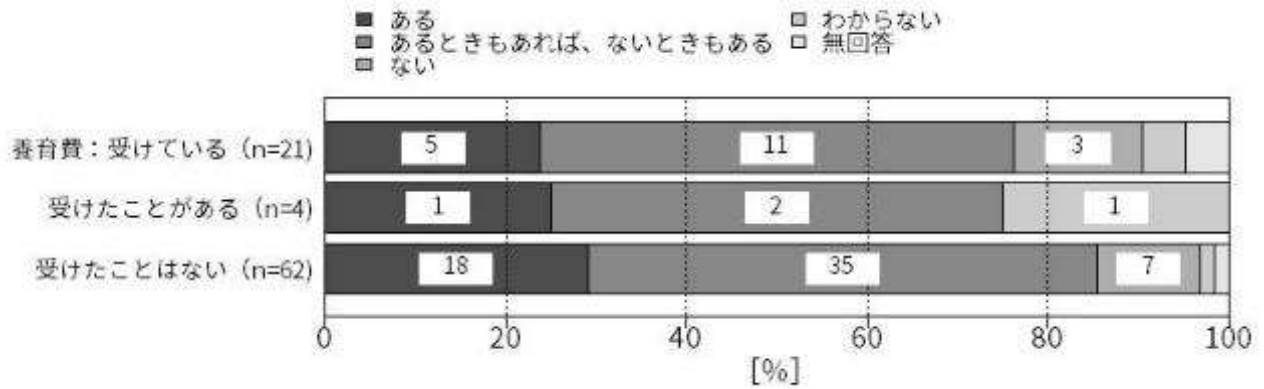


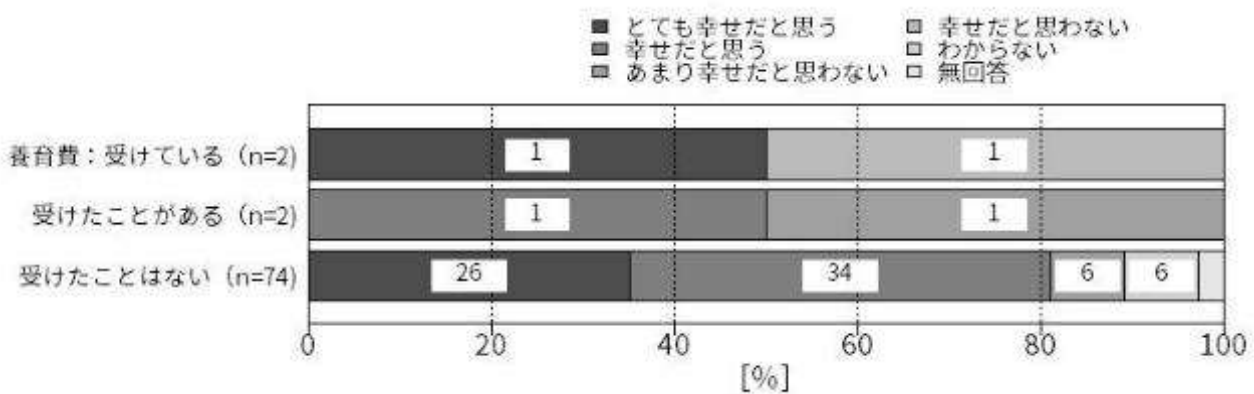
図 90. 養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの

<母子世帯>

養育費を受けたことがある世帯は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。養育費を受けたことのない世帯では、「ある」が多くなっていた。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜父子世帯＞

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

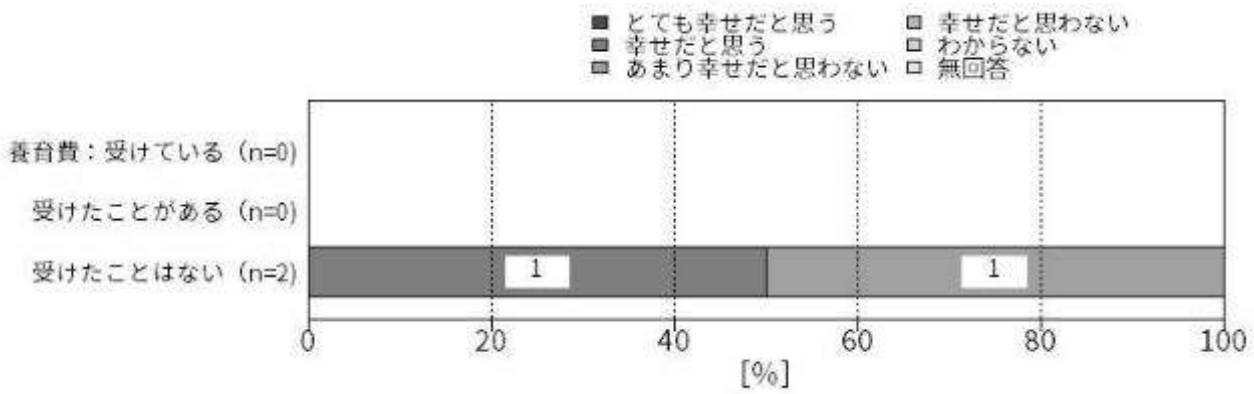
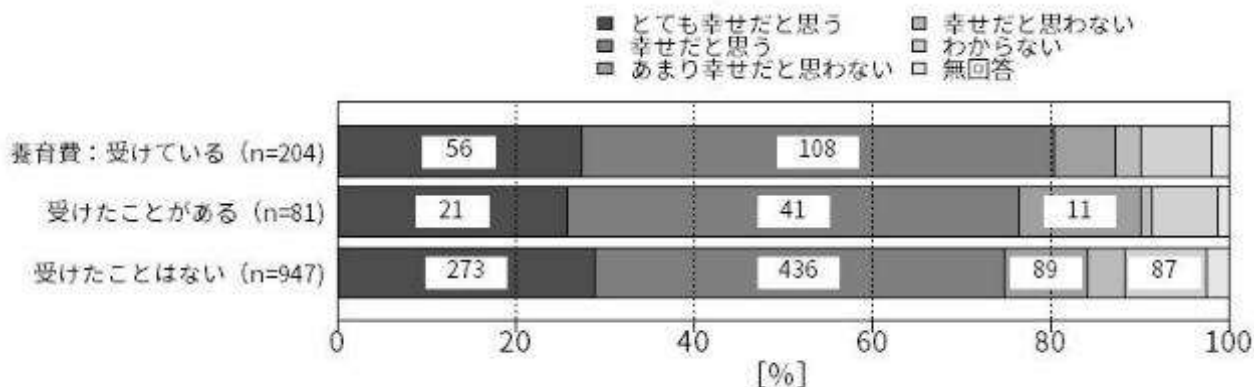


図 91. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う  
＜父子世帯＞

養育費を受けている世帯・受けたことがある世帯は回答がなかったため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住吉区＞

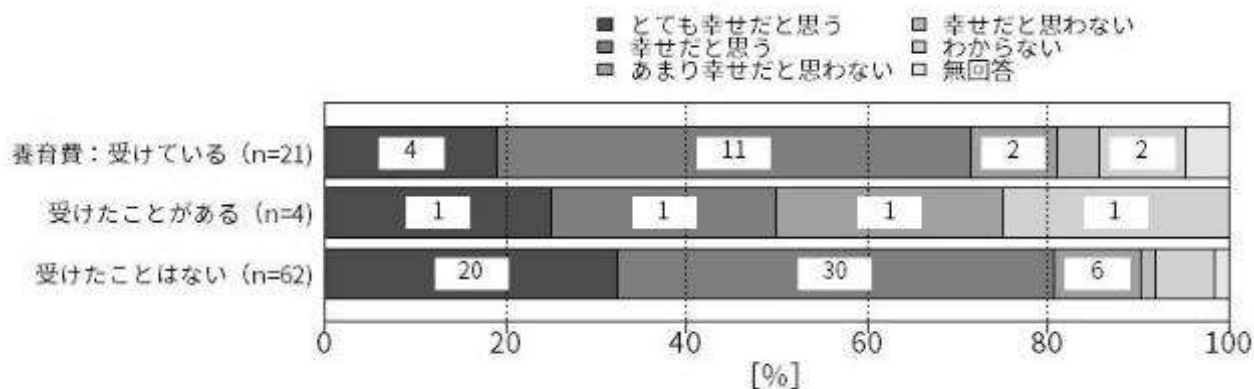
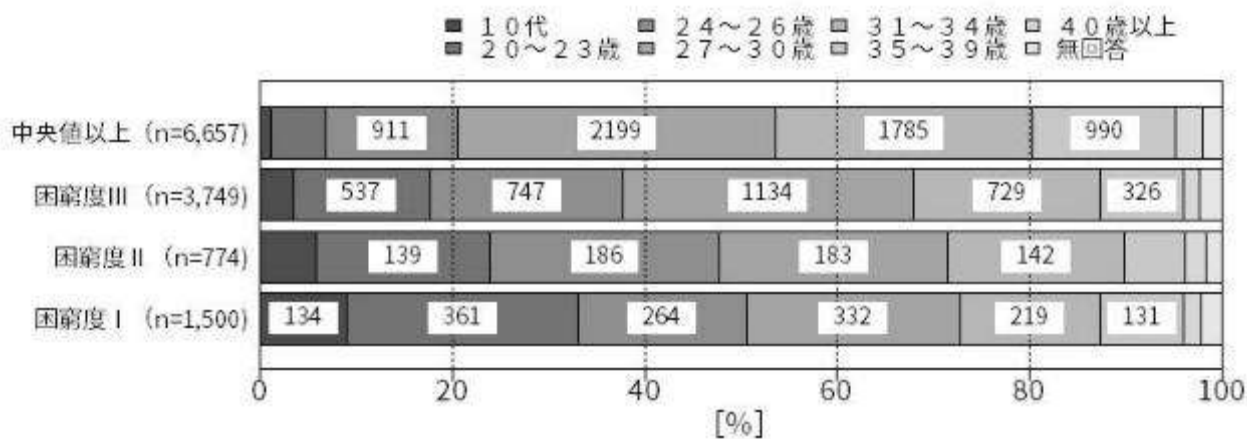


図 92. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う  
 ＜母子世帯＞

養育費を受けたことがある世帯は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）

<大阪市 24 区>



<大阪市住吉区>

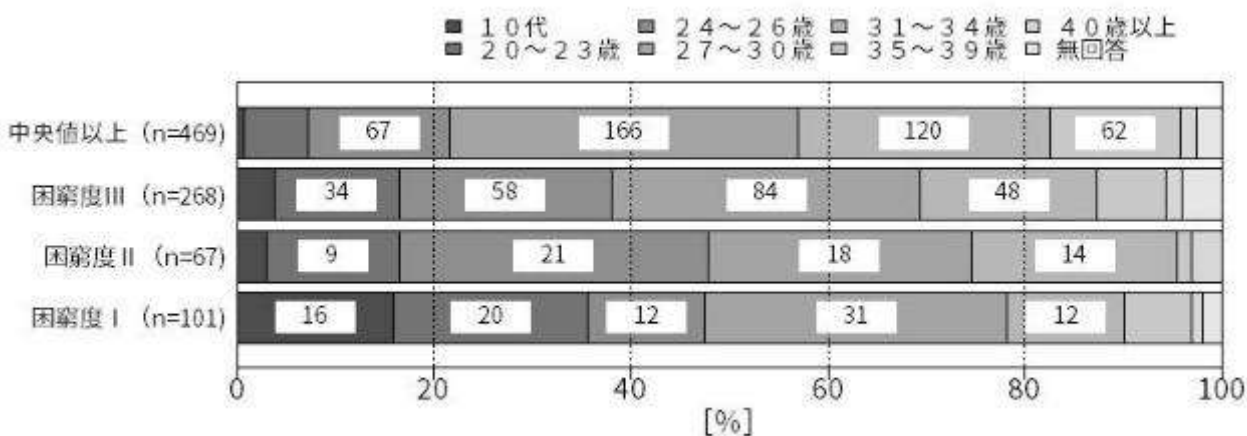


図 93. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

困窮度が厳しくなるにしたがって、10代・20~23歳で親となった割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で10代で親となった割合は15.8%、20~23歳で親になった割合は19.8%であった。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。